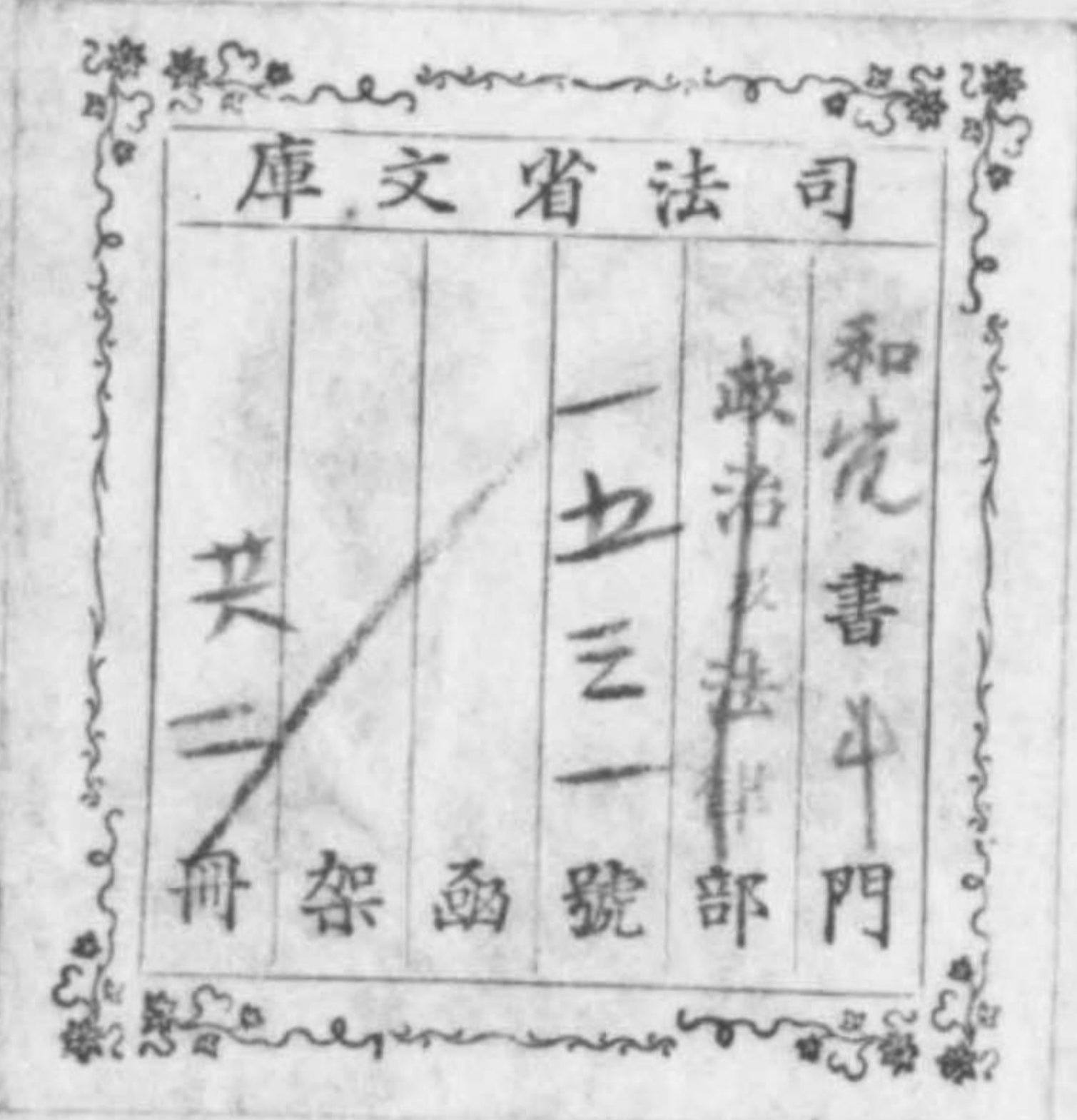


26

明治十八年

一千八百八十二年

佛國刑事裁判報告



翻譯課

H 400
S 1
1 a



一千八百八拾二年中佛國刑事裁判報告

H400	
S	1
1	a

司格名記
S1-1a H400
A.C. b



千八百八十四年三月十三日佛國官報抄訳

○佛國刑事裁判報告

謹テ千八百八十二年、佛蘭西及ヒアルゼリ
ノ刑事裁判一般ノ報告ヲ我大統領閣下ニ
捧呈ス

凡ソ刑事統計表ハ徒ニ社會上ニ德義上ニ裁判
上ノ事件ヲ計數シタル者ニアラス、政事家哲學
家法學士ニ在リテ至要ナル材料タリ又之ヲ施
政ノ一點ニ付テ見ルキハ學術上及ヒ實際上ノ
利益アリ年々人民德義ノ變遷ヲ鑑ミ又刑法ニ
何等ノ所ニ於テ改正ヲ下スヘキヤヲ熟知シ改
正ヲ為シタル後ニ至リテハ刑法ノ適用如何
ヲ觀察スルニハ此統計表ヲ以テ最モ緊要ナリ

トス

刑事統計表ヲ以テ他ノ施政部ヨリ公布シタル
表ニ比較参照スルハ尚オ一層ノ緊要ヲ感覺
スルナルヘシ故ニ先キニ我高務卿ハ佛蘭西ニ
在リテハ千八百八十一年十二月十八日ノ調査
アルゼリールニ在テハ同月二十八日ノ調査ニ係
ル人口表ヲ発布セリ此表ニ據リ人口ト犯者ト
ヲ對照スルハ學問上ニ必要ナル原素ヲ得ル
ヤ疑ヲ容レサルナリ

余ハカメテ重輕罪自殺等ニ付キ人口ト精確
對照ヲナサント欲セリ是レ裁判統計ノ數ノミ
ヲ以テ計數ノ基礎トナスト誤信スル者ナカラ
シムルカ為メナリ又余ハ此簡單ナル報告書ナ

ルヲ以テ概表ヲ示サント欲ス然レ熱心ナル博
識者ノ細目ヲ探知スルニ便ナルカ為メ百四表
ニ採用シタル順序ニ從テ此表ヲ作レリ

佛蘭西

○第一部

○重罪裁判所

○事件

千八百八十二年陪審ニ附シタル重罪事件ハ之
 ラ前年ニ比スルハ二百八十六件ヲ増加セリ即
 チ前年ニハ三千三百五十八件ナリシモ八十二
 年ニハ三千六百四十四件トナレリ此差異ハ著
 レキ原因アリテ然ルニアラス必スシモ千八百
 八十二年ノミ前年ヨリ重罪事件ヲ増加シタリ
 ト云フヘカラス年ニ因リテ多少ノ増減アル
 自然ノ免カレ難キ所タリ下表ニ據リ五ヶ年
 重罪裁判所ニ於テ對審裁判ヲ以テ判決シタル

千八百八十二年ノ件數三千六百四十四ノ内千六百六十六件(即チ百ニ付二十六)ハ公寧及ヒ人身ニ對スル重罪ナリ、千九百七十八件(即チ百ニ付五十四)ハ財産ニ對スル重罪ナリ、上ニ述ヘタル増加ノ事件中五分ノ四ハ財産ニ對スル重罪ニシテ餘ハ放火罪ヲ除キ^他重罪ナリ、人身ニ對スル重罪中ニ著シク増加シタル者ハ殴打創傷毒殺及ヒ殺尊屬ナリ、強姦及ヒ猥褻ノ件數ハ千八百八十二年ニ於テハ千八百八十一年ヨリモ少シク増加シタリト虽モ千八百七十九年ノ件數ニ及ハス比較スレハ九十五件ノ差アリ

○被告人

對審裁判ヲ以テ判決シタル^者三千六百四十四件

ニシテ其被告人ハ四千八百十四名ナリ即チ人口十萬ニ付キ十三名ノ割合ナリ、此割合ヲ細別スレハ財産ニ對スル重罪ノ被告人ハ十萬人ニ付八名(二千九百十一名)人身ニ對スル重罪ノ被告人ハ十萬人ニ付五名(千九百三名)ナリ。此人口十萬ニ付被告十三名ノ平均數ハ概算ナリ故ニ二十七州ニテハ十三名強ニ當リアルプ、マリチーム州アルワド州及ヒゲル州ニテハ人口十萬ニ付二十名オーグ州ニテハ、二十一名エロ州ニテハ二十名ロルス州ニ於テハ二十四名ユール州ニ於テハ二十五名ブーシユエロ州又州及ヒセー又州ニテハ二十七名ノ割合ナリ此ニ注目スヘキハ上ノ十州中ニ於テ最モ

人口ノ繁殖シタル州ハ獨リセー又州ノ一アルノミナリの上ノ州ニ及シ人口繁多ナル或ル州ニ於テハ割合甚ク少數ナリノール州及ヒロアル、アンフエリユール州ニテハ人口十萬ニ付被告人十一名フ井ニステール州ニテハ九名コト、ジエ、ノール州ニテハ八名パー、ド、カレ州ニテハ六名ノ割合ナリ。人口ニ比較シ被告人ノ少ナキ州ハチエラ州、インドル州、マレーズ州、クルーグ州及ヒムールトエモセール州ナリ。此諸州ニ於テハ人口十萬ニ付被告人五名オトピレネー州ニテハ三名ドローウ州ニテハ二名ノ割合ナリ

必スヤ人口ノ繁殖ハ重輕罪増加ノ起原ナリ工

業商賣ノ旺盛ナル市府ニ於テハ例ヘハ詐偽及
ヒ倒行兇ニ重キ盜罪人如キハ必ス村邑ヨリモ
其數多シ何トナレハ此市府ニ在リテハ人民ノ
貪想他ヨリモ太過度ナレハナリ然レハ繁旺ノ地
ハ悉ク然カリト云フニ非ラス何トナレハノ
ル及ヒバドカレノ二州ノ如キハ七一又州ニ
次キテ人口繁多ノ州タリト虽レ其被告人ノ數
ニ至リテハ十万人ニ付キ十三名ノ平均數ニ達
セサレハナリ犯罪ノ性質ニヨリテ看察ヲ下ス
キハ犯罪ノ真實ナル原因ハ住民ノ風俗及ヒ習
慣ニ付テ之ヲ探究スヘキナリ例ヘハブレタ
ニエ古國中ノ過半ニ位セル二十六州及ヒコル
スサボアールカンタールオートルロアルオートルガ

ルフオートルピレネー等山嶽ノ地方ニ於テハ財
産ニ對スル重罪ヨリモ人身ニ對スル重罪最モ
多シ
今マ男女、年齡、身分、教育、生國、職業、住居ニ從テ四
千八百十四名ノ被告人ヲ區別スルハ左ノ如
シ

○男女

被告人、内男子ハ四千百三十四名(被告人百ニ
付八十六)女子ハ六百八十名(百ニ付十四)ナリ、男
子ハ人口男十万人ニ付二十二名女子ハ人口女
十万人ニ付四名ニ過キス

○年齡

年齡ニ因リ被告人ヲ區分スル左ラ表ノ如シ

十六歳以下	七								
自十六歳至二十一歳	二四								
自二十一歳至二十五歳	一三一								
自二十五歳至三十歳	一二五								
自三十歳至四十歳	一四七								
自四十歳至五十歳	八九								
自五十歳至六十歳	四九								
六十歳以上	一七								
		一七							
			三						
				一					
					一				
						一			
							一		
								一	
									一

此表ニ據リテ見レハ年齢ト犯罪ノ關係ニ於テハ被告人間ニテ比較シ又ハ人口ニ比較スルモ男女共ニ同一ノ比例ナリ然レモ男子ニテハ三十歳ヨリ四十歳ノ者ヨリ最多數トシ女子ニテハ

二十五歳ヨリ三十歳迄ノ者ヨリ最多數トス又十六歳以上二十五歳以下ノ男子ハ多クハ兵役中ニ在リ軍事犯罪ノ被告人ハ此表ニ掲載セサルモ此年齢ノ被告人ノ實數甚タ多ク十三百八十九名ニシテ即チ全實ノ三分強ヲ占ムナリ是レ實ニ痛嘆ス可キナリ

女子ニテハ十六歳以上二十五歳迄ノ被告人最モ多シ(二百四十六名即チ被告人百ニ付三十六)此半數ハ孩兒ニ對スル重罪ノ訴ヲ受ケタル者ナリ此犯罪ノ數ハ女子ノ重罪全數ノ三分ニ在

○身分

四千八百十四名ノ被告人ヲ其身分上及ヒ親屬

上ヨリ分ツキハ、獨身二十八百六十二名(被告人百ニ付六十)子アル夫婦者千二百二十名(百ニ付二十五)子ナキ夫婦者三百九十四名(百ニ付八)子アル鰥寡二百四十一名(百ニ付五)子ナキ鰥寡九十七名(百ニ付二)ナリ

人口表ニ親屬ニ係ル統計ナシ只、身分ノ區別ヲ記載ス故ニ爰ニ身分ノ表ト刑事統計表ヲ比較シテ比例ヲ示ス左ノ如シ

男子

鰥	夫婦者	獨身	人數	被告人数百	同一身分アル人口十萬ニ付
二四九	一三七七	二五〇九	六	三三	二四
				六一	六一

女子

獨身	夫婦者	寡	人數	被告人数百	同一身分アル人口十萬ニ付
三五三	二三八	八九	一三	三五	五
				五二	八

上ノ表ニハ法律ヲ以テ定メタル結婚年齢(男子十八年女子十五年)ヨリ起算シテ獨身ノ數ヲ定ム、獨身者ハ他ノ十九百五十二名又ハ人口表八百四十万七千四百九十ノ獨身ト比較スルニ被告人数ノ第一ニ在リ然レモ夫婦者ト鰥寡ト比較スルハ被告人数ハ却テ夫婦者ニ多シ、實際ニテハ夫婦者ヨリモ鰥寡ニ付テ大罪多シ是レ

録ノ被告人ノ十分ノ三ハ強姦又ハ猥褻ノ罪ヲ以テ罰セラレタルカ故ナリノ

○教育ノ度

本項ノ統計表ニ於テハ被告人ヨリテ三級トス
○第一 全ク文字ナキ者其數ハ千八百八十二年ニ於テハ千二百六十五名即チ被告人百二十名ニ割合ナリ○第二 讀方書方ヲ知ル者其數三十三百五十三名即チ百二十名ノ割合ナリ
○第三 上等ノ教育ヲ受ケタル者其數ハ百九十六名即チ百二十名ノ割合ナリ○千八百八十二年ノ被告人ノ實數ハ千八百八十一年ヨリ少シク増加シタリトモ氏此比例數ハ前年ト全ク同一ナリ今人口表ニ據リテ比較シ教育ノ人心ニ如

何ナル影響アルカラ知ルハ大ナル利益アリトモ氏人口表ハ調査ノ精密ナラサルノ恐レアルニ因リテ教育ノ事ヲ載セサリキ

○生國原籍

一般ノ統計表編制ノ為ノ商務卿ヨリ呈シタル人口表ニ據レハ人口調査ノ時佛蘭西ニ於テ外國出生ノ人莫ハ十六万四千七百七人アリ此人口ノ内被告人ノ數千八百八十二年ニハ四百七十二人アリ之ヲ外國出生ノ人口ニ比較スレハ十萬二月五十五ノ割合ナリ佛蘭西又ハ我藩屬地ニ出生シタル人口内、被告人ハ十萬二月十二ノ割合ナリ
人口表ニ據レハ人口五分ノ四ハ其現住ノ州ニ

出生レ此ニ戸籍ヲ有ス被告人ニレテ裁判ヲ受
ケタル州内ニ出生レ且ツ戸籍アルモノ比較數
ハ被告人中十分ノ六(即チ百人ニ付五十六人)ニ
シテ其實數ハ二千八百三十五人ナリ被告人五
分ノ一即チ九百八十四人(百ニ付二十)ハ裁判ヲ
受ケタル州ニ住居アルモノナリ他ノ五分一即
チ九百九十五人(百ニ付二十一)ハ裁判ヲ受ケタ
ル州外ノ人ナリ

一般ノ刑事ニ付テ各州被告人ノ數ハ被刑人録
ニ明ナリ該録ニ據レハ千八百八十二年ニ八十
七萬二千九百ノ宣告狀アリ其内一万五千二百
二十七(即チ千ニ付八十八)ハセー又州出生ノ者
ニ係ルセー又州ニ次キテ件數多キ州ハ左ノ如

レ

セー又、又シフエリユール州ニ於テハ七十三百

二十四(即チ千ニ付四十六)

ノール州ニ於テハ九千二百九十四(即チ千ニ付

三十六)

又又州ニ於テハ四千五百三(即チ千ニ付二十

六)

バド、カレール州ニ於テハ三千六百五十五(即チ千

ニ付二十一)

フイニスステール州ニ於テハ三千四百九十八(即

チ千ニ付二十)

ソム州ニ於テハ三千三百三十四(即チ千ニ付十

九)

表ニ據レハ外國人ノ數ハ八十六万四千七百七十人ナリ中央被刑人録ノ第一号ニハ外國人ノ數ヲ記載ス宣告狀ノ數ハ一万八千二百七十一アリ故ニ佛蘭西ニ住スル外國人十名ニ付千八百八十二年重罪輕罪ノ處刑ヲ受ケタル者ハ二十一名ナリ依テ考ルニ佛蘭西人ハ千人ニ付五人ノ割合ナレハ外國人中ノ割合ハ四倍ノ多數ナリ

○住所

四十八百十四名ノ被告人ノ内四百六十八名ハ定住ナキ者二千二百五十六名(百ニ付五十二)ハ人口四千以上ノ市府ノ住民ナリ又二十九名(百ニ付四十八)ハ在村ノ住民ナリ○佛國人民ノ三分一ハ市府民ニシテ三分二ハ在村民ナリ

然ルニ被告人ハ市府ニ多ク在村ニ少シ其比較ハ在村ノ住民ハ十万人ニ付八名市府ノ住民ハ十万人ニ付十七名ノ割合ナリ

○職業

職業ノ點ニ付テハ被告人ヨ十種ニ分テ同種ノ人民ト比較スル左ノ如シ

男子

	人負	被告人百	同職業ノ男子十万人ニ付
農業者	一三四一	三三	一六
農業雇人	一六九	四	二四
工業者	一一〇八	二七	二五
商業人	六七一	一六	三八
運輸業及海商	一五三	四	三五

公力人	五二	一	一二
學術業	二一〇	五	二八
所有者及年金所得者	四三	一	六
人ニ附屬スル雇人	一六七	四	四九
定業ナキ者及職業知ル者	二二〇	五	五四
女子	人負	被告人百	同業ノ女子十
農業者	二一一	三一	三
農業雇人	四四	四	六
工業者	一二〇	一八	三
高業者	七二	一一	四
運輸業海商	一	〇	〇
學術業	一二	一	二

言法卷

所有者、年金所得者	五	一	一
人ニ附屬スル雇人	一三五	二〇	一七
定業ナキ者、職業知ル者	八〇	一二	一五

職業ナリ又ハ之ヲ自述セサル被告人ハ之ヲ除キ同業者ト比較シテ最モ多數ナルモノハ人ニ附屬スル雇人ノ部ナリ此部内ノ被告人十分ノ三ハ竊盜又ハ單一ノ信罪ノ訴ヲ受ケタル者ナリト至ル雇人ナルヲ以テ刑法上加重ノ情状アリ故ニ重罪裁判所ニ移シタルモノナリ〇農業者ハ被告人ノ全數ニ對スル片ハ三分一ノ比例ニ在リト至ル同業ノ人口ニ比較スレハ却テ工業者高業者又ハ學術業ヨリモ少數ナリ

言法卷

下ノ表ハ如何ナル級ノ人民ハ持ニ如何ナル罪ヲ犯シタルカヲ鑑察スル為ノニ作レリ故ニ此表ヲ三部ニ分チ第一ニハ人身ニ對スル重罪被告人ノ實數ヲ載セ第二第三ニハ被告人ノ身分ニ從ヒ比例數ヲ掲ケタリ

指示

出生	教育ノ度	身分	年齢	男女 男子 女子	重罪被告		百人ニ比例シタル數			
					人ノ實數	又身ニ對スル罪	人身ニ對スル罪	財產ニ對スル罪	人身ニ對スル罪	財產ニ對スル罪
裁判ヲ受ケタル州ニ生レ此ニ戶籍アル者 同州ニ生レ他州ニ籍アル者	全ク文字ナキ者 讀方書ヲ知ル者 上等ノ教育ヲ受ケタル者	鰥寡 子アル者 子ナキ者	獨身 夫婦者 子アル者 子ナキ者	二十歳以下	一五六六	二五六八	八二	八八	三八	六二
				自二十一歳至二十五歳	三三七	三四三	一八	一一	五〇	五〇
				自二十五歳至三十歳	二八一	六〇八	一五	二一	三二	六八
				自三十歳至四十歳	二七五	五〇二	一四	一七	三五	六八
				自四十歳至五十歳	三三九	五一五	一二	一八	三二	六八
				自五十歳至六十歳	四五一	六九九	一〇	一二	二九	六一
				六十歳以下	三〇二	三六一	一六	二四	四九	六六
				獨身	二二〇	一六七	一六	二四	四九	六六
				夫婦者	一三五	五九	七	二	七〇	三〇
				子アル者	一〇一四	一八四八	五三	六四	三五	六五
				子ナキ者	五二六	六九四	二八	三四	四三	五七
				鰥寡	一五五	二九九	八	八	三九	六二
子アル者	一五三	八八	三	三	三七	六二				
子ナキ者	五五	四二	八	一	三七	六二				
全ク文字ナキ者	五八六	九七九	三	二	三七	六二				
讀方書ヲ知ル者	一二四三	二一〇	五	四	三七	六二				
上等ノ教育ヲ受ケタル者	七四	一二二	四	三	三七	六二				
裁判ヲ受ケタル州ニ生レ此ニ戶籍アル者	一二八五	一五〇四	六	五	三七	六二				
同州ニ生レ他州ニ籍アル者	一三	三三	八	二	三七	六二				

年齢四十歳迄ハ男女共ニ其犯ス所ノ罪ハ同種
ナリ然レ氏四十歳以上ニハ男子ノ人身ニ對ス
ル罪ヲ犯セル者比例増加^リ是レ強姦及ヒ幼者
ニ對スル猥褻ノ罪人多キヲ以テナリ
強姦猥褻ノ被告人七百九十二人其半数三百九
十四ヲ年齢ニ因テ區別スレハ四十歳ヨリ五十
歳迄ハ百六十四人又五十歳ヨリ六十歳迄ハ百
二十九人又六十歳以上ハ百一人ナリ是レ人身
ニ對スル罪ノ鰥被告人ノ数夫婦者及ヒ獨身ヨ
リ多キ所謂^キナリ
全ク文字ナキ者ノ人身ニ對スル重罪ヲ以テ訴
ヘラレタル^ト他ノ者ニ比較スレハ甚タ多シ之
ヲ細別スレハ二百八十一人ハ強姦又ハ猥褻ノ

被告人百四十四人ハ故殺又ハ謀殺ノ被告人ハ
十三人ハ殺見罪ノ被告人ナリ此三罪ノ被告人
ヲ以テ人身ニ對スル罪ヲ犯シ重罪裁判所ニ附
シタル文字ナキ被告人ノ全数ニ比スレハ大概
十分ノ九即チ百人ニ付八十七人ノ割ニ当ル
生國原籍ノ點ヨリ見ル^ル片ハ人身又ハ公寧ニ関
スル罪ヲ犯シタル者ヨリ財産ニ對スル罪ヲ犯
シタル者多数ニ在リ
職業ノ點ニ付キ農業雇人及ヒ所有者又ハ年金
所得者ヲ除ク^ル片ハ上ト同シ蓋シ此三職業ノ者
ニハ強姦又ハ猥褻ノ訴ヲ受ケタルモノ甚タ多
教ナルヲ以テ此ヲ除キタルナリ
人身ニ對スル重罪ノ比例ハ在村住ノ被告人ニ

多シ何トナレハ此被告人ニハ強姦又ハ猥褻罪
市府ノ被告人ハ三百四十五名ナレ在村住民
ニハ五百三十九人ナリ及ヒ暴行(市府ニハ三百
二人ナレ在村ニハ五百三十五人ナリ)ノ訴ヲ
受ケタル者多ケレハナリ○之ニ及シ財産ニ對
スル重罪中十人ノ八強ヲ占メタル盜罪及ヒ詐
偽ノ十人ノ七ハ市府住民ノ犯ス所ナリ○定住
ナキ被告人十人ノ九ハ其惡徳ヲ満足スル為メ
ニ犯シタル盜罪ナリ
余ハ重罪ノ統計ヲ爰ニ止メ直千二千八百八十
二年陪審ニ附シタル公訴ノ結果ヲ陳述セント
欲ス

○公訴ノ結果

對審裁判ヲ受ケタル公訴三千六百四十四件ノ
内二千二百四十八件即チ百ニ付六十二ハ全ク
陪審官ノ採用スル所トナリ他ノ五百五十件ニ
ハ罪ノ性質ヲ變更シテ裁判ヲ受ケタリ其内二
百七十九件ハ事實ニ重罪ノ性質ヲ存シ二百七
十一件ハ輕罪ト變シタリ又公訴八百四十六件
即チ百ニ付二十三ハ陪審官ノ却下スル所トナ
レリ○此比例ハ人身ニ對スル重罪ト財産ニ對
スル重罪ニ付テ差アリ即チ人身ニ對スル重罪
ニ關シテハ公訴ノ採用サレタル者ハ百ニ付六
十八其却下サレタル者ハ百ニ付十九ノ割合ナ
リ、財産ニ對スル者ニハ採用ノ件ハ百ニ付六十
八却下ノ件ハ百ニ付十九ノ割合ナリ、此差ハ刑

事糺彈ノ不充ナルヨリ生スルニアラヌ犯罪ノ性質及ヒ被告人ノ地位ニ依リテ然ルモノナリ、凡ソ人身ニ對スル重罪ハ人間交際上ノ怨恨執仇ノ情ヨリ發生スル者其多キニ居ルト虽モ財産ニ對スル重罪就中盜罪ノ如キハ大抵平素惡事ヲ以テ世ニ生活スル者ノ犯ス所タリ故ニ陪審官ハ自カラ人身罪ニ寛ニシテ財産罪ニ嚴ナリ暴行罪ノ中ヨリ謀殺ヲ引去リ其無罪放免ノ數ヲ他ノ重罪ニ比スレハ割合ハ百ニ付三十六強ニ当ルナリ之ニ及シテ盜罪ノ無罪放免ハ百ニ付二十ノ割合ニ達セス然レモ德義ニ及スル犯罪ニ関シテ無罪放免ノ平均數ハ千八百七十一年ヨリ千八百八十年迄

八百ニ付二十一、千八百八十一年ニ八百ニ付三十、千八百八十二年ニ至リテ八百ニ付三十二ノ割合ナリ數年間強姦及ヒ猥褻ニ付無罪放免ノ數ハ増加セス此罪ヲ防止スルニハ嚴ニ之ヲ治スルノ外ナカルヘシ無罪放免ト男女年齢及ヒ教育ト對照スルハ利益ナキニアラヌ被告男百名中無罪放免ハ二十名女八百ニ付四十六ノ割合ナリ此男女間ニ著シキ差アル所以ハ陪審官ノ女子ノ孩兒ニ對スル重罪ヲ俟ツ甚タ寛ナルニ依ルナリ故ニ殺兒罪ニ関シ孩兒隠蔽及ヒ隨胎被告人ノ無罪放免ノ平均數八百ニ付四十一、五十五及ヒ六十一ノ割合ナリ

丁年ノ被告人ハ其年齢ノ長スルニ從テ無罪放
免ノ數モ亦増加ス故ニ二十一歳ヨリ四十歳迄
ノ被告人ニハ無罪放免ハ百ニ付二十一、四十歳
ヨリ六十歳迄ハ百ニ付三十一、六十歳以上ニハ
百ニ付四十ノ割合ナリ二十一歳以下ノ知者ニ
ハ無罪放免ハ百ニ付二十七ノ割合ナリ是レ是
非辨別ナキト其不充分ナルトニ依リテ犯罪ノ
責任ヲ減シタルカ故ナリ
無罪放免ノ數ハ教育ノ度ニ因リテ差アリ全リ
文字ナキ者ニハ百ニ付二十三、普通教育ヲ受ケ
タル者ニハ百ニ付二十八、上等ノ教育ヲ受ケタ
ル者ニハ百ニ付四十一ノ割合ナリ此上等ノ教
育ヲ受ケタル者ノ過半ハ詐偽者或ハ倒行者ニ

シテ其犯罪ヲ遂ケニハ詐計告知ヲ用フト虽
モ文字ナキ被告人ハ固ト知識ナキヲ以テ其罪
ヲ犯スニハ暴行ト猛厲トニ因リテ其慾望ヲ遂
タルモノナリ

千八百八十二年ニ陪審官ハ千三百十七ノ無罪
放免ヲ決定セリ是レ百ニ付二十七ノ割合ナリ
然レ氏千八百八十一年ニ於テハ百ニ付二十六
又千八百七十六年ヨリ千八百八十年迄ノ平均
數ハ百ニ付二十二ノ割合ナリキ〇百ニ付二十
七ハ概算ニシテ下十二個ノ控訴院管轄ニ於テ
ハ此割合ヨリモ多シ

ブールジユ

百ニ付

二十八

ガエン

同

二十八

ヂ ヂ ヨ ン	百 二 付	二 十 九
リ オ ム	同	二 十 九
グ レ ノ ー グ ル	同	三 十
巴 里	同	三 十
バ ス チ ア	同	三 十 二
ポ ー	同	三 十 二
ホ ア シ エ ー	同	三 十 二
ツ ー ル ー ズ	同	三 十 二
モ ン ペ リ エ ー	同	三 十 四
ア ヂ ヤ ン	同	三 十 五
無罪 放 免 ノ 増 加 ス ル ヲ 見 レ ハ 重 罪 取 調 局 ハ 犯 罪 ノ 果 シ テ 陪 審 ニ 附 ス 可 キ 重 大 ノ 証 拠 ア ル ヤ 否 ヲ 審 査 ス ル ニ 一 層 ノ 注 意 ヲ ナ ス ヘ キ ノ 必 要		

ヲ感スル一深シ何トナレハ重罪裁判所ハ三ヶ月毎ニ開審スルヲ以テ無罪ノ被告人ヲシテ長ク未決拘留ニ苦シマシムルノ恕アレハナリ陪審官ノ寛容ノ度如何ヲ見ルニハ単ニ無罪ノ決議ノミナラス陪審ノ許可シタル酌量減軽ニ注意セサルヘカラス此減輕ノ場合ニ於テハ犯罪ノ事實ヲ認メ被告人ヲ有罪ナリト定ムルカ故ニ無罪ノ決議トハ別アリ被告人四千八百十四名中ヨリ單純ニ放免サレタル千三百十七名ヲ引去リ他ニ是非ノ弁別ナクシテ罪ヲ犯シテ放免サレ懲治監ニ送付シタル十六歳ノ幼者十七名アリ(刑法第六十六條)又陪審ノ決議ヲ以テ輕罪ト変シタル罪ノ被告人三百十二名アリ

又重罪ノ刑ヲ受ケタル被告人ニシテ陪審ヨリ酌量減輕ヲ許シタル被告人三千百六十八名アリ此三千百六十八名ノ内現ニ減輕ヲ受ケタル者ハ二千三百二十八名ナリ即チ百ニ付七十三ノ割合ニ當ル千八百八十一年ニ比スレハ百分ノ二ヲ減シ千八百七十一年ヨリ千八百八十年迄ニ比スレハ百分ノ一ヲ減シタリ陪審ノ酌量減輕ヲ許シタル被告人ノ割合ヲ刑ノ種類ニ因リテ區別スレハ死刑ニ該ル被告人ハ百ニ付八十八ノ割合、無期徒刑ニ該ル被告人ニハ百ニ付八十二ノ割合、有期徒刑ニ該ル被告人ニハ百ニ付六十七ノ割合ナリ是ニ因テ見レハ陪審ノ決定ハ法律ニ定メタル刑ノ輕重ニ因

リ寬嚴アルカ如シ夫ノ殺兇放火通貨偽造及ヒ詐偽倒行ノ如キニ至リテハ酌量減輕ノ數ハ百ニ付九十九、九十六、九十三及ヒ九十二ニ當ル然レハ別段ノ状況又ハ犯者ノ兇惡ニ因リ現ニ重大ナル犯罪ニ付テハ陪審ハ寬假スル所ナシ故ニ夫ノ幼者ニ對スル強姦及ヒ再犯ノ盜罪ノ如キニ至リテハ酌量減輕ハ百ニ付五十三ノ割合ナリ、懲役ノ刑ヲ受クヘキ被告人ニシテ刑法第四百六十三條ノ恩典ヲ得タル者多ク其割合ハ百ニ付七十九ナリ法官ハ陪審ノ寬容ナル決定ヲ受ケ如何ニ刑ヲ適用スルカヲ知ルニハ前文ノ末尾ニ掲ケタル懲役刑人ヲ以テ標準トナスヘカラス何トナレ

ハ此刑ノ輕減ハ法律ヲ以テ一年以上五年以下ノ禁獄ニ制限シタレハナリ審院ハ殺兒罪犯ト認メラレタル被告人ニ付テハ輕減シテ盡シタリ人ノ住居セル家屋ノ放火犯ハ四十一人ノ内輕減ノ者四十人佛國通貨偽造犯ハ五十一人ノ内四十一人詐偽倒行犯ハ三十七人ノ内三十二人ナリ已ニ見ル如ク陪審ニ於テ無罪放免ノ決議ヲナシタルハ上ノ重罪ニ於テ最モ多シトス又重罪裁判所ハ陪審ノ酌量減輕ナリ死刑ニ処セララルヘキ被告人ノ四分ノ三強(百ニ付三十三)有期徒刑ニ処セララルヘキ被告人ノ三分ニ強(百ニ付六十三)無期徒刑ニ処セララルヘキ被告人ノ半数強(百ニ付五十五)ニ二等減ヲナセリ○此無

期徒刑ニ該ル被告人ノ減輕ノ割合ハ之ヲ他ニ比スレハ頗ル少數ナリ蓋シ此被告人ノ内ニハ路上ノ盜罪暴行ヲ以テ人ヲ創傷シテ犯シタル盜罪及ヒ被害者ヲ支配スル權アル者ノ犯シタル強盜ノ罪犯アルヲ以テ然ルナリ○以上減輕ノ有様ニ付テ見レハ事實ノ判定及ヒ刑ノ適用共ニ陪審ト法官ト一致シタルヲ察知スルニ足レリ爰ニ重罪又ハ輕罪ノ犯者ト決シタル被告人三千四百八十人ニ重罪裁判所ノ適用シタル刑ノ數ヲ見ルヘシ

死刑
無期徒刑

三十五人
百二十人

二十年及七二十年以上ノ徒刑	八十八人
八年ヨリ二十年迄ノ徒刑	四百二十三人
八年以下ノ徒刑	三百六十四人
無期ノ懲役	五人
二十年及七二十年以上ノ懲役	四人
十年以上二十年以下ノ懲役	四人
五年以上十年以下ノ懲役	六百八十七人
一年以上ノ禁錮	千四百六十四人
一年以下ノ禁錮	二百八十二人
罰金	四人

合計三千四百八十人

此徒刑ニ処セラレタル被告人九百九十五人ノ内六百三十一人ハ千八百五十四年五月三十日

ノ法律ニ従ヒ藩屬地ニ移送シ此ニ永住セシム
○死刑

死刑ハ重大ノ刑ナルカ故ニ三十五ノ死刑ニ付
特ニ説明ヲ要ス、死刑人ノ中三十三人ハ男二人
ハ女十人リ○刑人ノ内二名ハ民法上ノ丁年ニ達
セサル者ニシテ其他ノ年齢ハ二十一歳ヨリ三
十歳迄ノ者十二名、三十歳ヨリ四十歳迄ノ者八
名、四十歳ヨリ五十歳迄ノ者六名、五十歳ヨリ六
十歳迄ノ者五名十人リ
刑人ノ内十七名ハ再犯以上ノ者十人リ
三十名ノ刑人ノ罪ハ左ノ如シ

謀殺 二十四人

他ノ重罪又ハ輕罪ト共ニ犯シタル故殺 四人

殺尊屬親

三名

人ノ住スル家屋ノ放火

二名

毒殺

一名

殺兒

一名

右死刑ノ宣告ヲ受ケタル三十五名ノ内実行シタル者ハ四名ナリ他ノ三十一名ハ宥減シテ二十九名ヲ無期徒刑ニ二名ヲ二十年ノ徒刑ニ処シタリ

○監視

千八百七十四年一月二十三日ノ法律ニ拠リ施体及ヒ加辱ノ有期刑ニ処シタル被告人千五百七十人ノ内九百十四人ニ監視ノ刑ヲ適施セリ故ニ此刑ヲ受ケタルモノハ被告人百ニ付五十

八人ノ割合ナリ○然レ此比例ハ犯罪ノ種類ニ因テ大ニ差アリ人身ニ對スル重罪犯ニハ百ニ付四十五ノ割合ニ過キス財産ニ對スル重罪犯ニハ百ニ付八十二ノ割合ナリ○監視ノ刑期ハ百三十五名(百ニ付九)ニ付テハ二十年ナリ五百二十一(百ニ付三十三)ニ付テハ二十年(二百三十一人)或ハ十年以上二十年以下(二百九十人)ナリ、重罪裁判所ニ於テ禁錮ノ刑ヲ宣告シタル被告人千七百四十六人ノ内七十二人(百ニ付四)ハ刑期ノ終リタル後ニ監視ニ付ケラレタリ

○又席裁判ヲ受ケタル者

千八百八十二年ニ於テ重罪裁判所ハ陪審ノ參與十ク三百二十三名ノ被告人ニ對スルニ二百

九十七ノ公訴ヲ判決セリ其犯罪ノ種類ヲ細別スレハ左ノ如シ	官吏又ハ半官吏又ハ看守ノ任アル人ノ犯シタル加重ノ状情アル盗罪又ハ ^背 信罪	詐偽	詐偽倒行	強姦又ハ猥褻	故殺	謀殺	其他ノ重罪	三百二十三ノ宣告シタル刑左ノ如シ	死罪	無期徒刑
	百八	七十三	四十一	三十八	十四	九	十四	十五	十五	二十九

有期徒刑	懲役
百九十六	八十三

○欠席裁判ヲ受ケタル者ノ再審

同年ニ於テ先キニ欠席裁判ヲ受ケタル八十七名ノ被告人ノ審判ヲ開キ對審裁判ヲナセリ其件数左ノ如シ

盗罪又ハ背信罪	詐偽	強姦又ハ猥褻	詐偽倒行	故殺	謀殺	他ノ犯罪
三十七	二十三	十三	八	一	一	四

此内三十一名ハ放免シ五十六名ハ左ノ刑ニ処シタリ

有期徒刑 十

懲役 十三

禁錮 十三

欠席裁判ト對審裁判ノ間ニ經過シタル年月ヲ計レハ左ノ如シ

被告人三十五名ニ付テハ一年未滿

同二十四名ニ付テハ自一年至五年

同二十名ニ付テハ自六年至十年

同八名ニ付テハ十年以上

○政治ニ関スル罪及ヒ新聞條例

違反罪

重罪裁判所ハ千八百八十一年七月二十九日ノ法律ニ拠リ政治ニ関スル罪及ヒ新聞條例違反罪三十四件ヲ受理セリ其被告人ノ数ハ五十五人ナリ其犯罪ノ性質ヲ區別スレハ左ノ如シ
官吏誹毀(第三十一条及ヒ第三十三条) 三十一

風俗ヲ害スル罪(第二十八条第一節) 十四

重罪教唆(第二十四条第一節) 八

共和大頭領ニ對スル罪(第二十六条) 一

証人誹毀(第三十一条) 一

此被告人ノ内二十五名ハ放免シ三十名ハ左ノ刑ニ処セリ

罰金 九名

禁錮一年及一年以上以下

十三名
八名

○第二部

○輕罪裁判所

○事件

千八百八十二年重罪ノ公訴ニハ幾分々増加シタル所ナリト云モ輕罪事件ハ六千五百六十四件ヲ減少セリ其最モ著シキモノハ檢事ノ起訴ニ係ル輕罪事件中十分八ノ減少是レナリ
輕罪裁判所ノ對審又ハ欠席ニテ審判シタル數ハ十七万二千二百三十六件ナリ○此内民事原告人ノ起訴ニ係ルモノ六千二百五件(百ニ付三)行政官ノ起訴ニ係ルモノ九千九百二件(百ニ付六)檢事ノ起訴ニ係ルモノ十五万六千二百二十九件(百ニ付九十一)ナリ○檢事ノ起訴ニ係ル事

件ノ内二万八千六百四十五件即チ五分一強(百
 = 付十八)ハ豫審局ニ送付シ他ノ七万四千六百
 六十七件即チ半數弱(百 = 付四十八)ハ直チニ被
 告人ヲ喚問シ又他ノ五万二千八百十七件即チ
 三分一強(百 = 付三十四)ハ千八百六十三年五月
 二日ノ現行^犯法律ニ拠リテ公判ニ付シタリ此三
 分一ノ比例數ハ千八百八十一年ニハ百 = 付三十
 一又千八百七十年ヨリ千八百八十年迄ノ平均
 數ハ百 = 付二十二ニ過キサリキ上ノ五月二日ノ
 法律ニ定ムル治罪自続ハ人身自由ノ元則及ヒ
 國庫ノ利益ニ於テ緊要ノモノタリ然ルニ八十
 二年ニハ百 = 付三十四ノ割合ナレハ此手續ノ
 次第ニ裁判所ノ慣習ニ行ハレルヲ知ルニ足レ

リ是レ最ニ賀ス一キナナリ
 千八百八十二年輕罪裁判所ノ事件十七万二千
 二百三十六ヲ分テハ普通罪ハ十五万三千六百
 五十五件(百 = 付八十九)税則又ハ森林ノ犯罪ハ
 一万八千五百八十一件ナリ○下ノ表ニ拠リ五
 テ年間ノ犯罪ヲ見レハ件數ノ夥多又ハ犯罪ノ
 重大ハ公亭ニ關スルモノ其多キニ居ルヲ知ル
 可シ

森林法ノ違反
其他ノ軽罪

合計

六、一〇八	七、一五五	七、七三六	六、六七一	六、一五八
八、四七七	八、六五二	九、四三七	一〇、五五二	九、九四五
一六、三七九	一六、七四七	一七、〇二六	一七、八八三	一七、九三二

△公然ノ猥褻二千五百七十六件ノ姦通四百十三件○淫行勸誘五百卅七件○十六才幼者ニ對スル猥褻六十三件○風俗ヲ破ル罪(千八百八十二年八月二日ノ法律)三十六件

千八百八十一年ヨリモ千八百八十二年ニ於テ著シク増加シタル軽罪ハ無宿ナリ其増加ハ百ニ付九ノ割合ナリ其増加ノ著大ナル州ハ左ノ如シ

セーヌ州ニテハ千五百二十四ヨリ二千百十六ニ増加ス

アルプ、マルテーム州ニテハ七十五ヨリ二百十四ニ増加ス

オワーズ州ニテハ千三百一ヨリ二百五十一ニ増加ス

ソナム州ニテハ九十ヨリ百九十四ニ増加ス

グート、ウヤンヌ州ニテハ六十九ヨリ百五十四ニ増加ス

アルデーシエ州ニテハ三十七ヨリ百十九ニ増
加ス

右ノ増加ハ之ヲ工業及ヒ商業ノ衰頽ト犯罪視
察ノ嚴重トニ歸スト並モアルプ、マリチーム州ニ
於テハ人口ノ増加ニ因リ地中海沿岸市府ノ張大
ヲ以テ其原因ノ一トス(千八百八十一年ニ於テ
ハ千八百七十六年ヨリハ人口二万三千七十七
増加セリ)此人口ノ増加ハ伊多利人ノ生計ヲ求
メテアルプ、マリチーム州ニ移住スルニ由ル(其
移住人ハ千八百八十一年ニ於テハ千八百七十
六年ヨリモ一万五千八百六十一人ヲ増加セリ)
然レモ此移住人ノ勞力ヲ以テ充分ニ生計ヲ立
テル者ハ甚タ稀ナリ○セーヌ州ニ於テハ無宿

及ヒ刑餘人ノ勞力ヲ以テセス盜賊ヲ以テ生計
ヲ求ムルモノ甚タ多シ千八百八十二年巴里ノ
巡查ハ無宿無業ノ者一万四千二百八十人ヲ逮
捕シタリ

輕罪裁判所ニ付シタル無宿罪ノ最モ減少シタ
ル州ハローヌ州(七百五十二ヨリ五百八ニ減ス)
及ヒセーヌ、エ、マリース州(五百六ヨリ二百七十
一ニ減ス)ナリ

他ノ輕罪ニ付テハ千八百八十一年ヨリモ千八
百八十二年ニ於テ事件ノ増加シタルモノアリ
ト虽モ之カ理由ヲ下スヘキ著大ノ差異アラサ
ルナリ

事件ノ減少シタル輕罪ハ先ツ政治及ヒ選舉ニ

關スル輕罪ナリ、此罪ハ千八百八十一年ニ於テ
ハ七百四十七件ナリシカ千八百八十二年ニハ
百三十件ニ減セリ、其次ハ千八百七十四年八月
一日ノ徵馬規則ノ犯罪ナリ、此罪ハ前年ニ於テ千
五百九十九件ナリシカ此年ニハ三百二十一件
ニ減セリ、又其次ハ漢犯ナリ、此罪ハ千八百八十
一年ヨリモ千八百八十二年ニ於テハ八百二十
件ヲ減セリ

商業上ノ詐偽ハ年々減少スルノ勢アリセリ又
州ニ於テ千八百八十年中輕罪裁判所ニテ裁判
シタル數ハ千三百三十四件ナリ同八十一年ハ
七百八十四件トナリ同八十二年ニハ六百三十
七ニ減セリ、右三ヶ年ノ平均數ハ百ニ付四十四

弱ニ當ル ○此減少ニハ幾分カ市邑工藝検査場
ラボラトワル、ミユニシパールノ設立ノ与テ力
アルモノト思考セラレ

獵罪ニ著大ノ減少アリ即チ二万四千四百七十三
件ヨリ一万七千五百四十一件ニ減セリ此罪ハ
全国中減少シタリ然レモ左ノ二州ハ此例外ナ
リトス

アルプマリーチーム州ニハ百二十二件ヨリ二百
十九件ニ増加ス

コルス州ニハ百十八件ヨリ百九十一件ニ増加
ス

森林罪モ亦々千八百八十一年ニハ六千六百七
十一件ナリシカ千八百八十二年ニハ減少シテ

六千五百五十六件トナレリ此犯罪ノ実数ヲ確知
スルニハ裁判ノ前ニ千八百五十九年六月十八
日ノ法律ニ依リテ行フタル和解ノ件数ヲ加算
セサル一カラス其和解ノ数ハ千八百八十一年
ニハ二万八千七百七十六件ナリニカ千八百八
十二年ニハ二万五千三百七十七件ニ減セリ故
ニ實際ノ減ニタル数ハ表面ノ五百十五件ニア
ラスニテ三千九百十四件ナリ

○被告人

千八百八十二年輕罪裁判所ニ於テ裁判ニタル
件数ハ千七万二千九百三十六件ニシテ其被告
人ハ民事原告人ノ請求ニ因リ起訴ヲ受ケタル
者七千九百五十八人、行政官ノ起訴ニ係ル者一

万九百二十一人、檢事ノ起訴ニ係ル者十八万三
千二百八人ナリ依テ被告人ノ全数ハ二十万二
千三百〇七人ナリ○檢事ノ起訴ニ係ル輕罪ハ
社會ニ危害ヲ与ヘタル一最モ大ナルヲ以テ其
詳細ヲ述フルヲ必要ナリトス佛蘭西全土ニ於
テ平均輕罪犯ハ人口一万ニ付四十九ノ割合ナ
リ然レモ此平均数ハ八十六州ニ付テ精算スル
ニハ二十一ヨリ百十六マテノ間ニ差異アリ
人口一万ニ付被告人六十名以上ノ比例アル州
ハ左ノ如シ

檢事ノ起訴ニ因リ裁判ニタル被告人
ヲ人口一万ニ割合タル数

デロンド州

カロワドール州	六十三
エヌヌ州	六十五
セノヌ、エ、マルヌ州	六十五
セーヌ、エ、オワズ州	六十九
エロール州	七十
ツィグ州	七十一
ムールツ、エ、モセル州	七十一
ユール州	七十一
ワル州	七十二
セーヌ、アンフェリエール州	八十一
セーヌ州	九十五
コルス州	百〇〇
ブーシエ、デ、ロース州	百〇九

アルプ、マリチーム州 百十六
 七州ニハ比例數五十一ヨリ六十ノ間ニ在リ十
 三州ニハ四十一ヨリ五十ノ間ニ在リ三十五州
 ニハ三十一ヨリ四十ノ間ニ在リ○下ニ記スル
 十六州ニテハ其割合ハ三十一以下ノ比例ニ在
 リ

檢事ノ起訴ニ因リ裁判ニタル被告人
 ヲ人口一万人ニ割合タル數

エン州	三十
シヤラント、アンフェリエール州	三十
タルン州	三十
ニエーウル州	二十九
イゼール州	二十九

アリエーロジエ州	二十九
ロ、エ、ガローヌ州	二十七
セーブル州	二十七
フニキ、ド、ローム州	二十七
サオーヌ、エ、ロアル州	二十五
ワンデ州	二十五
インバル州	二十二
オートロアル州	二十二
クルーズ州	二十一
ドー、セーウル州	二十一
コート、ジユ、ノール州	二十一
各州ノ犯罪ノ原因ヲ精査スルハ甚々難シ然レ レ凡割合ノ多数ナル犯罪ハ人口繁殖工業旺盛	

ノ州ニ在リコイルスノ如キハ其例外ナリ然レ
 凡此州ノ犯罪ニハ殴打創傷、禁制ノ兵器携帯、兵
 卒ノ掠奪多夥ナルヲ見レハ以テ風俗ノ然ラシ
 ムルヲタルヤ明ナリ○アルプ、マリチーム州ニ
 於テハ年中ノ一部ニ外人ノニース府ニ集合ス
 ルヲ以テ克人ノ之ニ随テ來犯スモノ多シ○罪
 犯ノ比例數ノ少数ナル諸州ハ農業ヲ専ラニス
 ル人民アル州ナリ

被告人二十万二千三百七人ノ内十七万四千二
 百四十四人ハ男(百ニ付八十六ノ割合)二万八千
 六十三人ハ女(百ニ付十四)ナリ此割合ハ重罪被
 告人ト全ク同一ナリ

七被告人ノ内一万十四人ハ單純ノ竊盜、三千百

四十九人ハ故意ノ殴打創傷、千六百三十九人ハ
官吏ニ對スル暴行、千二百六十六人ハ森林罪、千
百七十四人ハ乞丐、千四百四十三人ハ無宿、六百三
人ハ醉狂(再犯以上)ノ犯者ナリ○女ハ常ニ狹兒
ニ對スル罪、淫行勸誘、姦通、不法ノ医業ノ犯罪ニ
ハ多數ニ在リ
被告人ノ年齢ニ付テ普通輕罪犯十八万六千二百二
十人ヲ區別スレハ左ノ如シ

男

十六歳以下 五千五十人 (百ニ付三)
自十六歳至二十一歳 二万四千八百十八人 (百ニ付十六)
二十一歳以上 十二万五千三百六十八人 (百ニ付八十一)

女

十六歳以下

七百五十五人 (百ニ付三)

自十六歳至二十一歳

千二百二十三人 (百ニ付十二)

二十一歳以下

二万五千五百六十六人 (百ニ付八十五)

二十一歳以下ノ被告人十分ノ三(百ニ付二十九)

ハ盜罪被告人ノ全數中ニアリ○樹木植物又ハ

繞圍ヲ破壊シタル輕罪被告人ノ四分一ハ此年

齡ノ被告人ナリ○無宿(百ニ付二十四)公然ノ猥

褻(百ニ付二十二)飲食店ニ對スル詐偽(百ニ付二

十二)ノ被告人五分一強ハ此年齢ノモノナリ

對質裁判ヲ受ケタル十六歳ノ幼者五千八百五

人ノ内二百十四人ハ丁年ハ共犯ナク且ツ無期

刑ニ該ラサルヲ以テ刑法第六十八條ニ據テ處

断サレタリ其犯ニタル罪ニ因テ區別スレハ加重

、状情アル盗罪ニ九十八人猥褻ニ七十四人收
 獲物放火ニ二十六人鉄路妨害ノ未遂犯ニ九人
 重大ノ毆打創傷ニ五人詐偽ニ二人ナリ
 税則又ハ森林違反ノ被告人二万千六百八十七
 人ヲ年齢ニ因テ區別スルハ左ノ如シ

男

十六歳以下 六百二十(百ニ付三)

自十六歳至二十一歳 二千五十一(百ニ付十一)

二十一歳以上 一万六千三百三十七(百ニ付八十六)

女

十六歳以下 八十六(百ニ付三)

自十六歳至二十一歳 二百六十六(百ニ付十)

二十一歳以上 二千三百三十七(百ニ付八十七)

此表ニ拠リテ見レハ二十一歳以下ノ被告人ノ
 比例ハ普通罪ヨリモ特別罪ニ於テ少数ナリト
 ス

○公訴ノ結果

起訴ノ出ル所ト困リテ大ニ公訴ノ結果ニ關係
 アリ故ニ行政官ノ起訴ニ係ル事件ニシテ無罪
 ト決セラレタルモノハ千ニ付二十ノ割合ニ過
 キス是レ行政部吏員ノ作リタル調書ハ詐偽ノ
 訴アル迄信憑アルヲ以テナリ之ニ及ビ民事原
 告人ハ輕卒ニ訴ヲ起スモノ多キヲ以テ其被告
 人ノ無罪放免ノ者ハ千人ニ付二百九十七人ノ
 割合ナリ檢事ノ起訴ニ係ル事件ニハ被告人ノ
 一名ナルト数名ナルトヲ問ハス無罪放免ハ千

付三十四ノ割合ナリ公判中支訴ノ有無多少
 ヲ詳察スルニ檢事ハ細心着実ニ公訴ヲ行タル
 一ハ疑ヲ容レサルナリ
 爰ニ輕罪裁判所ノ判決ヲ受ケタル二十万〇千
 三百〇七人ノ被告人ニ付其確定ノ位置如何ヲ
 見ル可シ

一單純ノ無罪免免

一万千八百十四人(百ニ付六)

一是非弁別ナキヲ以テ放免

ナレタル十六歳以下ノ幼首

其内

親族ニ引渡シタル者……………七八九

監視ニ附シタル者(刑法第二百七十一條第二節)……………四

懲治監送リタル首(同第六十六條)……………四四八

百ニ付二

一罰金ヲ加附シ又ハ加附セシテ禁錮ニ処シタル者

一年以上……………五七五四 百ニ付三
 一年及二年以下……………一四九 百ニ付五十七

一罰金ニ処シタル者

六五八六七 百ニ付三十二

千八百八十一年ニ於テ一年及二一年以下ノ禁
 錮ノ比例數ハ百ニ付五十四罰金ノ比例數ハ百
 ニ付三十五ナリ然ルニ爰ニ注意スヘキモノア
 リ千八百八十二年ニ於テ獵犯漢犯并ニ森林及
 ニ徵馬規則ノ犯罪其他一般ニ罰金ノミヲ科ス
 可キ犯罪ニハ著大ノ減少アリ

輕罪裁判所ニ於テ附加刑トシテ監視ヲ宣告ス
 ル一ハ次第ニ減少ス千八百七十六年ヨリ千八
 百八十年迄ノ平均數ハ千六百四十件ナリシカ
 千八百八十一年ニハ千五百七件トナリ千八百
 八十二年ニハ千二百七十二件ニ減シタリ

○酌量減輕

普通輕罪被告人ノ全數(十六万五千九百八十一)ヨリ法律ニテ刑法第四百六十三條ノ適施ヲ許セル被告人一万八千九百十二人ヲ引去ルキハ裁判所ノ酌量減輕ヲ行フヲ得可キモノトシテ四万七千六十九人アリ然レテ之ヲ實施シタルモノハ八万八千八百七十九人即チ十分ノ六十九重罪ニ付テハ上ニ見ル如ク陪審ノ酌量減輕ヲ許シタル數ハ四分ノ三十ナリ
刑法第四百六十三條ヲ適施シタルトハ就中無審乞丐盜罪ニ多シ其割合ハ百ニ付九十八、九十一、八十七ナリ無審及乞丐ニ付テ監視ノ比例甚ク多數ナルヲ以テ其減少ヲ望ムモ可ナリト

虽ヒ盜罪ハ危害多キヲ以テ此減少ヲ望ム可カラズ減輕ノ數百ニ付八十七ノ割合ハ少數ナリト虽モ此等ハ收獲物ノ竊盜ニシテ其刑始メヨリ輕キヲ以テ第四百六十三條ヲ適用スルノ要用ナキニ因リテ然ルナリ

○欠席裁判

千八百八十一年輕罪裁判所ノ裁判十七万二千九百三十六ノ内一万九千三百八十六ハ欠席裁判ナリ○其欠席裁判ノ内一方四千三百三十四件(百ニ付九)ハ普通罪五千二百五十二件(百ニ付二十八)ハ稅則又ハ森林ノ犯罪ノ判決ナリ○欠席裁判ノ内千五百六十三ハ裁判通知前ニ本人之ヲ承服シ二千四百三十四ノ裁判ハ通知ノ後

テ本人ノ故障申立アリテ原裁判、終又ハ之ヲ
変更シテ執行セリ又一万五千三百八十九ノ裁
判ニハ故障ノ申立ナシ此裁判ノ内九千三十一
ハ故障人ノ不在ニ拘ハラス執行之餘ノ六千三
百五十八ハ統計年報ノ終末マテハ其結果ヲ見
ス

○ 軽罪ノ控訴

佛國二十六控訴院ノ控訴局ハ千八百八十二年
ニ於テ八千八百十九件ヲ裁判セリ依テ計算ス
レハ原裁判百件ニ付控訴ハ五件ノ割合ナリ此
割合ハ毎歲不同ナシ
發明免許アル商品偽造ノ裁判ハ一トニテ控訴
アラナルハナシ之ニ次テ控訴ノ多キ裁判ハ偽

証ノ裁判(百ニ付三十八)証告ノ裁判(百ニ付三十
四)及、猥褻ノ裁判(百ニ付二十二)ナリ

軽罪控訴八千八百十九件ニテ其被告人ハ一
万三千三十一人ナリ其八千三百四十一人(百ニ
付八十一)ハ控訴原告人ナリ他ノ千四百八十六
人(百ニ付十四)ハ控訴被告人ナリ又他ノ四百九
十九人(百ニ付五)ハ同時ニ原被トナリタル者ナ
リ○六千三百五十七件即チ十分七強ニ付テハ原
原裁判ヲ認可シ二千四百六十二件ニ付テハ原
裁判ヲ認否セリ○此認否裁判ノ十分三(百ニ付
三十一)ハ原刑ヨリ加重セリ此割合ハ千八百八
十一年ニ於テモ同一ナリキ然レモ千八百七十
六年ヨリ千八百八十年マテハ平均百ニ付四十

三ノ割合ナリ之ニ依リテ近二年間始審裁判所
ハ従前ヨリモ確實ニ刑ヲ適施シタルヲ見ル可
シ
認否ノ数認可ノ数ニ超過シタル二個ノ事件ア
リ即チ禁制ノ兵器又ハ軍器ノ携帶又ハ其所持
ノ裁判ニハ百ニ付五十九看守人ヲ附シタル差
押物件ノ竊取ノ裁判ニハ百ニ付五十二ノ割合
ナリ○禁制ノ兵器携帶ノ認否控訴裁判ハ大抵
フルス裁判所ノ裁判ニ對シテ下シタルモノナ
リハスチア州ニ限り控訴原告人ヨリモ控訴被
告人多ク且ツ認可證訴裁判ノ数モ亦タ多シハ
スチアニ次クモノハ百件ノ控訴裁判ノ内認否
ハ四十八アルシヤンベリ及ヒ百ニ付四十ノ

ノ割合アルナンシ及ヒアンセル州ナリ

第三部

再犯

再犯ノ件数ハ益々増加スルノ勢アリ重軽ノ被
 告人ニハ増減アリト虽凡再犯ノ比例ハ一々増
 加スルノミナリ重罪被告人ノ再犯ハ前十年間
 ハ百ニ付四十七ノ割合ナリシカ今日ニ至リテ
 ハ百ニ付五十二ノ割合ナリ輕罪ノ被告人ニ付
 テモ亦タ増加スル丁太著ナリ以前ハ百ニ付三
 十六ノ割ナリシカ百ニ付四十四ニ増加セリ
 廣ク再犯者ニ付テ計算スル片ハ先キニ短期ノ
 禁錮又ハ單純ノ罰金ヲ受ケタルモノニ多数ナ
 リト假定スルヲ得ルト虽凡刑量裁判統計ノ精
 算ニ拠レハ必スシモ小刑ヲ受ケタル者ニ再犯

多シト云フヘカラス千八百七十二年ニ於テ重
罪裁判所及ヒ輕罪裁判所ニテ判決シタル被告
人ノ内先キニ徒刑懲役又ハ一年以上ノ禁錮ノ
處刑ヲ受タル再犯一万二千九百五十三人アリ
千八百七十七年ニ於テハ此數ハ一万五千九百
一人トナリ千八百八十二年ニハ一万八千十二
人ニ増加セリ故ニ千八百七十二年ヨリ千八百
八十一年迄十年間法律上再犯増加ノ比例ハ百
ニ付三十九即チ五分ノ二弱ノ割合ナリ
再犯ノ莫ハ從來道德學士ノ問題トナリ且ツ政
府ノ注意スル所タリ故ニ更ニ之ヲ詳述スルハ
不要ナリト信ス依テ余ハ只タ千八百八十二年
間重輕罪被告人ノ再犯及ヒ再犯ト行刑方法ノ

關係ヲ畧述セント欲ス

再犯ノ重罪被告人

千八百八十二年重罪裁判所ハ三千四百九十七
人被告人ヲ罰シタリ此被告人ノ内千八百二人
即チ半數(百ニ付五十二)ハ一度若クハ數度刑重
裁判所ノ處刑ヲ受ケタル者ナリ
或ル州ニ於テハ再犯ハ此百ニ付五十二ノ比例
ノ上ニアリ即チ左ノ如シ

オースト、マル又州ニ於テハ百ニ付七十ノ割合
オースト、ロアル州ニ於テハ百ニ付七十三ノ割合
ニエウル州ニ於テハ百ニ付八十二ノ割合

然レモ此計算ノ基礎トナリタル眞數ハ夥多ナ
ルニ非ラサルヲ以テ之ニ評論ヲ下タスニ及ハ

ス

此再犯被告人千八百二十人ノ先キニ受ケタル
刑ヲ區別スレハ左ノ如シ

徒刑 十九名(百ニ付一)

懲役 八十七名(百ニ付五)

禁錮一年以上 六百七名(百ニ付三十三)

禁錮一年及一年以下 九百八十六名(百ニ付五十四)

罰金 百二十一名(百ニ付七)

再犯被告人ノ内十分ノ六強即チ千十五人(百ニ

付六十一)ハ加重ノ状情アル盜罪ニ犯シ對審裁

判ヲ受ケタリ旧刑ト同一ノ刑ニ處セラレタル

者ハ百ニ付七十三ノ割合ナリ

他ノ二百四十六人即チ百ニ付十三ハ強又ハ

猥褻ノ被告人又百六十六人即チ百ニ付九ハ故

殺又ハ謀殺ノ被告人又ハ十二人即チ百ニ付四

ハ放火ノ被告人ナリ

重罪裁判所ニ於テ再犯被告人ニ申渡シタル刑

左ノ如シ

死刑 十六人

無期徒刑 六十七人

有期徒刑 六百二十一人

懲役 三百八十四人

禁錮 七百三十二人

禁錮處刑人ハ全數ノ五分ノ二ニアリ然レモ初

犯ノ重罪被告人ノ輕罪ノ刑ヲ受ケタル者ノ割

合ハ百ニ付六十二ニ過キサレナリ

再犯ノ輕罪被告人

千八百八十一年輕罪裁判所ニテ處断シタル輕
罪被告人十八万六千七百七十人ノ内千三百八
十八人ハ森林ノ罪犯ナリ此犯罪ノ言渡及ヒ刑
人ノ再犯タルヤ否ヤヲ被刑人録ニ記載セサル
ヲ以テ他ノ犯罪ノ被告人十七万九千三百八十
ニニ對スルニアラサレハ比例ヲ立ツルヲ得
ヘカラス
此被告人十七万九千三百八十二ノ内七万八千
九百九十八人即チ百ニ付四十四ハ再犯ナリ然
レモ左ノ二十七州ニ於テハ此割合ノ上ニアリ
オート、マル又州リゼル州ロアル、エンフエリユ
ील州ニテハ百ニ付四十五

カルワド州ロイ又州セーヌ、エ、マル又州オー
ト、ガル又州ニテハ百ニ付四十六
ドローム州ロアレ州ユル、エ、ロアル州ロアル、
エセール州ニテハ百ニ付四十七
ソナム州ムールツ、エ、モセル州ニテハ百ニ付四
十八

メシ、エ、ロアル州マキヤン又州エシ州ラ、マル又、
エ、タラン、エ、ガロンヌ州ニテハ百ニ付四十九
セシ、エ、オワーズ州セーヌ、エン、フエリユール州
レスヌ州ロアレ州オート、サオーヌ州ニテハ
百ニ付五十一
ジエラ、州サルト、エ、ルール州ニテハ百ニ付五十
一

七万八千九百九十八ノ再犯被告人ノ先キニ受ケタル刑左ノ如シ

徒刑

三百五十三人(百ニ百零)

懲役

千二百四十七人(百ニ付)

(二)

一年以上ノ禁錮

一万五千六百九十九人

(百ニ付二十)

一年及ヒ一年以下

二万二千三百四十七人

ノ禁錮

(百ニ付六十六)

罰金

千三百五十二人(百ニ付)

(十二)

千八百八十二年ニ於テ上ニ記スル再犯被告人ノ罪タル左ノ如シ

窃盗

一万八千四百四人

無宿

九千六百五十八人

故意ノ殴打創傷

八千一百一人

暴動及ヒ官吏ニ對

八百八人

スル暴行

乞丐

五千六百十四人

監視違反

四千九百三人

千八百八十二年ニ於テ監視違反無宿乞丐及ヒ

窃盗ノ再犯被告人ハ略ホ全数ノ一半ニ在リ即

千百ニ付四十七ノ割合ナリ

此犯罪ノ各種ニ付テ再犯人ヲ計レハ無宿百人

ニ再犯者七十三人乞丐百人ニ再犯者六十九人

窃盗百人ニ再犯者四十六人アリ監視違反ノ訴

ヲ受ケタル者ハ無論再犯以上タルヲ知ルヘシ

再犯被告人一万二千二百八十六人ノ内一ヶ年

中ニ数度処刑ヲ受ケタル者左ノ如シ

八千九百七十七人 二度

二万三千八十八人 三度

六百七十三人 四度

百八十人 五度

五十二人 六度

二十人 七度

三人 八度

輕罪裁判所ニ於テ罰金ニ処シタル再犯者ハ一

万六千六百九十人(百ニ付十五)禁錮一年又ハ一

年以下ニ処シタル者ハ六万三千五百五十人(百ニ

付八十)一年以上ノ禁錮ニ処シタル者ハ四千百
五十八人(百ニ付五)ナリ
此一年以上ノ禁錮ニ処セラレタル者ノ数ヲ法
律上ノ再犯者タル被告人ノ数(一万七千二百九
十九人)ニ比較スレハ百ニ付二十四ノ割ニ過キ
ス此割合ハ二十年以來ノ割合ノ半數弱ナリ之
ニ由リテ見レハ再犯ノ數ハ年々増スト雖モ其
犯ス所ノ罪ハ漸々輕微ナルヲ知ル可シ
千八百八十一年ニ於テ法律上ノ再犯者ノ三分
二弱即チ一万千三百一人(百ニ付五十五)ハ無宿
乞丐監視違反及ヒ竊盜ニ因ツテ処刑サレタリ
レ
此監視違反及ヒ竊盜ニ付テハ刑法第四十五條

及ヒ第四百壹條ヲ以テ禁錮五年ノ刑ヲ課スル
丁ヲ允許セリ然レモ此年ニ右ノ刑ニ處シタル
者ハ七千八百九十五人ノ内僅ニ百八十二人ナ
リ

再犯ト行刑方法ノ關係

再犯ノ復テ監視スルニハ犯者ノ期滿放免ヨリ
再犯マテ如何ナル時間アリシマテ探究スルニ
アラサレハ未タ完全ナリトスヘカラス凡ソ刑
罰ノ目的ハ獨リ懲戒ニ止マラス罪人ヲレテ悔
悟シテ善ニ歸セシムルニ在リ故ニ刑罰ノ方法
ハ之ヲ實用ヲシテ果シテ其目的ヲ達シタルヤ
否ヤヲ見ル丁ヲ必要ナリトス然レモ此探究ハ
總テノ再犯ニ付テ之ヲ行フヘカラス何トナレハ

獄舎ニ於テ僅少ノ日子ヲ經過シタル者又ハ放
免ト新訴ノ間ニ数年ヲ経タル者ハ其牢獄ニテ
服従シタル方法ノ感覺甚ク薄弱ナルヲ以テ此
等ノ者ニ付云云スルハ其當ヲ得サレハナリ故
ニ囚徒ニ徳義上ノ感覺ヲ惹キ起サシムルニ充
分ナル時間ノ囚繫ヲ受ケ且ツ放免ノ後ニ間ナ
ク重罪若クハ輕罪ヲ犯シタル刑人ニ付テ見ル
ニ非ラサレハ行刑方法ト再犯ノ關係ヲ推考ス
ルヲ得ス依テ統計表ニハ一年又ハ一年以下ノ
施体刑ヲ受ケテ放免サレタル者ヲ加ヘス且ツ
放免ノ其年又ハ其年ヨリ後チ二年間ニ罪ヲ犯
シタル再犯人ニ限リテ表ニ掲載セリ中央監獄
ノ放免囚徒及ヒ重輕罪再犯表ヨリ抜抄シテ千

八百八十年ノ放免囚徒ニ関ス左ノ指示ヲ得タ
リ

男子

千八百八十年中ハ個所ノ中央監獄ニテ放免シ
タル囚徒ハ六千五百五十九人ナリ此内四千六十
六人ハ二年又ハ二年以下二千九十三人ハ二年
ヨリ十年ノ囚繫ヲ受ケタル者ナリ
此放免囚徒ノ内二千四百三人(大略全數ノ五分
ニ)ハ更ニ罪ヲ犯シ刑ニ処セラレタリ之ヲ細別
スレハ千六百六十人即チ百ニ付四十八ハ放免ノ
其年ニ罪ヲ犯シ九百三十七人即チ百ニ付三十
九ハ千八百八十一年中ニ罪ヲ犯シ又三百九名
即チ百ニ付十三ハ千八百八十二年中ニ罪ヲ犯

セリ
故ニ 放免者ノ半數ハ出獄スルヤ直チニ重罪若
クハ輕罪ヲ犯シタリ若シ日ヲ以テ計算ヲ立ル
片ハ此割合ハ尚一層多數ナル可シ蓋シ千八百
八十年ノ終末月ニ放免シ千八百八十一年ノ初
月ニ再犯シタル者ハ千八百八十一年ノ再犯人
中ニ非サレハ現出セサレハナリ又千八百八十
年ノ表ヲ起案スルニ當リ内務卿ハ回達ヲ以テ
千八百五十六年三月十八日ノ廻達ヲ廢止シ中
央監獄ノ繫囚ニシテ其刑期ノ終スルニ至タ
リ尚オ一年若クハ一年以下ノ禁錮ヲ受クヘキ
者ハ刑期ノ終スル片放免ス可キ者ト區別ス
ル為メ之ヲ中央監獄ヨリ州獄ニ移シタリ然ル

ニ此移獄シタル囚徒ハ其數頗ル多夥ナリト雖
モ行政部ノ作りタル表ニ掲載セリ又此囚徒ハ
他ニ移監シ未ク實際ニ放免セラレサルヲ以テ
刑更統計表ニハ此再犯ヲ計載セサルナリ
放免ノ日ヨリ千八百八十二年十二月三十一日
マテ即チ二年半間千八百八十年ニ於テ中央監
ヲ出獄シ逮捕サレタル男ハ二千四百三人ナリ
其之ニ對スル宣告ハ五千三百八十件ナリ内五
百九十二ハ二年三百十九人ハ三年ヨリ五年マ
テ百四十三人ハ六年ヨリ九年マテ十七人ハ十
年ヨリ十三年ノ囚繫ナリ此再犯者ニ付初犯ニ
科シタル刑ハ其期短少ニシテ充分ニ懲戒ノ功
ヲ奏セス彼等ヲシテ放免ヨリ僅々ノ時間ニ數

度裁判所ニ訴ヘラレルニ至ラシムル如キハ実
ニ痛嘆ニ堪ヘサルナリ

此二千四百三人ノ内十分八ノ再犯ハ竊盜無宿
乞丐又ハ監視違反ナリ此放免者ノ過半ハ出獄

ノ片ニ營業ノ猪ニ就クニ足ルヘキ金錢ヲ受取
タレハ情急放蕩ナル生活ヲナサ、ル丁ヲ得タ

ル可シ放免者ノ千四百十五人(百ニ付五十九)ハ
百法以下ノ金ヲ受ケタリト云凡其餘ノ五分二

即チ九百八十八人ノ受取タル金數ハ左ノ如シ
自百法至二百法 五百八十四人

自二百法至三百法 二百十四人
自三百法至四百法 八十三人

自四百法至五百法 三十七人

自五百法至千法 六十一人

千法以上 九人

今チ距ル二十年即チ千八百六十九年出獄ノ片

百法以上ノ金額ヲ受取タル囚徒ノ再犯ハ百ニ

付十四ノ割合ナリシカ今日ニテハ百ニ付三十

一ノ割合ナリ

放免後ノ再犯ノ比例ハ始メニ受ケタル刑ノ性

質ニ從テ差異アリ懲役囚ノミ入レ置ク五個所

ノ中央監ノ放免者ニハ再犯ノ割合ハ百ニ付十

五ナリ懲役囚禁錮囚ヲ入レ置ク雜種監(コルヌ

ノ農夏監獄)ノ放免者ニハ百ニ付三十二ノ割合

ナリ又禁錮ノ刑ヲ受ケタル重輕罪囚ノミ入レ

置ク監倉ノ放免者ニハ百ニ付二十四ノ割合ナ

リ

女子

上ニ述タル如ク千八百八十年中央監獄ノ囚徒
 ノ出獄後千八百八十二年十二月三十一日マテ
 ニ再ヒ刑ヲ受ケタル者ハ其五分ノ二(即チ百ニ
 付三十九)ニ在リ之ヲ女子ニ付テ計ルハ四分
 一ニ達セス百ニ付二十四ノ割合ナリ(出獄者千
 百二十八人ノ内再犯ハ二百七十三人ナリ)
 此二百七十三人ヲ細別スレハ百十一人ハ千八
 百八十年ニ再犯シ(百ニ付四十一)百十八人ハ千
 八百八十一年ニ再犯シ(百ニ付四十三)四十四人
 ハ千八百八十二年ニ再犯シタリ(百ニ付十六)
 女囚ノ為メニ備ヘタル中央監獄ニハ刑ノ種類ヲ

區別セス總テノ囚徒ヲ入監シタリ然レモカ
 ラツク及ヒモンペリエーノ中央監獄ニハ禁錮囚
 ヨリモ徒刑又ハ懲役ヲ多シトス該監ノ出獄者
 ニハ再犯少シク百ニ付十二及ヒ十三ノ割合ナ
 リ之ニ及ヒ禁錮囚ヲ以テ充滿セルクモ
 獄ノ放免者中ニハ再犯ハ百ニ付三十四ノ割合
 ナリ之ニ由リテ見レハ再犯ハ初犯罪ノ性質ト
 刑期ノ長短ニ因テ多少ノ差異アリ

一室一囚ノ制

禁錮一年以上ノ囚徒ニシテ千八百八十年一室
 一囚制ノ獄舎ヨリ出テタルモノハ僅カニ二十
 九名ナリ此囚ノ内千八百八十二年十二月三十
 一日マテニ再犯シタル者ハ三名ナリ千八百七

十五年六月五日ノ法律ノ獄制ニ利益ヲ与ヘル
丁ハ疑ヲ容レスト虫居ノ制ヲ教多ノ監獄
ニ実行シタル後チニアラサレハ計數ヲ以テ其
利益ヲ示ス丁能ハサルナリ

幼囚

余カ壯者ニ付テ再犯ノ統計ヲ掲ケタル如ク懲
治監ニ囚繫セラレ特典又ハ法律上ノ終期ニヨ
リテ出獄シタル幼囚ニ関スル再犯ノ統計アリ
此統計ニ拠レハ千八百八十年ニ於テ出獄ノ幼
男ハ放免者百人ニ付十六人幼女ハ百人ニ付五
人ノ割合ナリ

千八百八十三年六月二十九日ノ會議ニ於テ
代議士院ノ採用シタル法律ノ草案アリ又當時
元老院ノ議ニ附シタル再犯ニ関スル法律ノ建
議アルヲ以テ余ハ別ニ此再犯ナル社會ノ汚惡
益々増長タルノ原因ヲ述ヘサル可シ先輩既ニ
此再犯ニ係ル問題ヲ論究シタルカ故ニ後令ニ
余カ爰ニ再犯ノ原因ヲ述ルモ先輩ノ説ヲ再
出スルニ過キサレ可シ然レモ余カ重輕罪ノ再
犯ニ関スル統計表ニ拠リテ為シタル解剖ハ先
輩カ此至大難ノ問題ニ付テ世ニ現シタル財料
ニ加附ス可キ財料ナリト信ス

第四部

違警罪裁判所

社會上ヨリ着察スル片ハ違警罪ハ他ノ重軽罪ヨリモ其關係スル所頗ル少ナリトス違警罪ノ多少ヲ調査スルト虽凡其犯者ニ果シテ罪惡ノ意思アルヤ否ヤヲ知ルヲ得サル可シ重軽罪ハ理財工業商業ニ関シテ増減アリト虽凡違警罪ト只夕地方警察ノ疎密ニ依リテ多少アリ然レ凡違警罪ノ多夥ナルヲ以テ統計表ノ一部ニ之ヲ掲載スルニ至レリ

千八百八十一年中違警罪裁判所ノ判決ヲ経テ
ル違警罪ハ三十七万七千四百四十六件ナリ之ヲ
千八百八十一年ニ比スレハ八千五百七十八件

ノ追過ナリ然レ之、千八百八十年ニ比スレハ二
万五千七百九十五件ヲ減少セリ
此違警罪ノ内十七万三千三百七件(百ニ付四十
六)ハ公安ヲ害スル罪ナリ又其内四万五千二百
四十二件(百ニ付十二)ハ田野警察法ノ違反ナリ
又七万九千三十四件(百ニ付二十一)ハ荷物運送
ニ関スル罪ナリ又其内三万四千五十三件(百ニ
付九)ハ特別規則ニ違反シタル罪ナリ
件数ノ多キ者ハ道路警察違反ノ罪ヲ第一トシ
其次ハ公然酩酊ノ罪(五万五千二百九十八件)誹
毀又ハ夜間ノ喧噪(五万五千二百九十八件)正規
ノ時間外ニ飲食店又ハ咖啡店ヲ開闔シタル罪
(一万八千六百一件)ナリ

違警罪ノ被害者ヨリ訴ヲ起シタル者ハ僅ニ千
七百三十二件ニ過キヌ(百ニ付二弱ノ割合)九万
五千五十六件(百ニ付二十四)ニ付テハ被告人裁
判所ノ召喚ニ應セヌ
違警罪ノ被告人ハ四十六万三千四百十四人ナ
リ即チ人口一万ニ付百二十三ノ割合ナリ然
レモ此人数ノ中五百八十五人ニ對シテ違警罪
裁判所ハ管轄違ヒナリト言渡シタルヲ以テ諛
裁判所ノ判決ヲ疑タルモノハ四十六万二千八
百二十九人ナリ此数ノ内無罪放免ハ一万五千
六百八人(即チ百ニ付三)一法以上十五法以下ノ
罰金ニ処シタル者ハ四十万五千六百五十人(即
チ百ニ付八十八)一日以上五日以下ノ禁錮ニ処

シタル者三万九千六百五十六人(即千百ニ付九ナリ)

此裁判所ノ言渡シニシテ控訴ヲ以テ攻撃スル
了ラ得ヘキモノハ治罪法第百七十二条七万二
千三百八ナリ即チ五分ノ一弱(百ニ付十九)ノ割
合ナリ此数ノ内被告人ヨリ控訴ヲ起シタルモ
ノハ五百四十二ノ裁判ナリ即チ千ニ付八ノ割
合ナリ輕罪裁判所ハ千八百八十一年中ニ違警
罪裁判所ノ判決ノ三分ノ二(百ニ付六十五)ヲ認
可セリ千八百八十一年ニ於テ認可ハ(百ニ付五
十四)ノ割合ニ過キサリシテ以テ見レハ八十二
年ニハ好結果ヲ得タリト謂フ可シ
刑吏ニ関シテ治安裁判官ノ更業ヲ掲載シ畢ル

ニ臨メ一言ス可キナリ該裁判官ハ千八百八
十二年ニ於テ現行犯又ハ他裁判所ノ囑托又ハ
檢査ノ請求ニヨリ三万五千四百二十四件ノ札
問ヲ行ヒ又之ヲ行フ為メ十三万一千六百六十
七名ノ証人ヲ審問セリ

第五部

刑事豫審

司法警察官ノ人負ハ森林看守官ヲ除キ千八百
八十二年ニ於テ増加セリ然レモ其増負ノ全數
ハ甚ク僅少ナリ前年ノ總負ハ十七万三千二百二十
名ナリシニ八十二年ニハ十七万一千七百七十名
トナレリ故ニ八百四十六名ノ増負ナリ之ヲ人
口ニ比較スル氏ハ二百十四人ニ一負ノ割合ナリ
檢察官補員ノ行フタル司法吏務ハ各差異アリ
教職ニ平均スレハ一年間憲兵又ハ巡查一名ニ
テ調書十件ヲ作り田野看守官ハ四名ニテ一調
書邑長副邑長ハ八名ニテ一調書特別看守人ハ
十三名ニテ一調書ヲ作りタル割合ナリ特ニ澳

犯ノ監視ヲ擔任セル橋梁監察人ノ教ハ調昏ノ
教ヨリ大概三分ノ一ノ少数ナリ

検事局

千八百八十一年十二月三十一日ニ檢査ノ所分
ス可キ告訴告発又ハ調昏係セラレ三千四百四十
件アリ又千八百八十二年中ニ檢査ノ受取タル
査件ハ四万七千三百三十二ナリ此二教ヲ合スレハ
四万四千七百七十二件ナリ其内四万三千三百五
十三件ハ昨年中ニ所分濟トナレリ
檢査局ニ受理シタル査件ノ内二十万二千六百
八十一件即チ半数強ハ免訴シ二万三千二百五
十七件(即チ百ニ付六)ハ陸軍裁判所海軍裁判所
行政裁判所又ハ違警罪裁判所ニ送付セリ又被

告人ヲ直チニ輕罪裁判所ノ公判廷ニ召喚シタ
ル件数十二万八千百十五(即チ百ニ付十二)ナリ
豫審判査ニ付シタル査件ハ四万六千三百ナリ
此諸件ノ比例教ハ千八百八十一年ト同一トナ
リ

豫審局

千八百八十二年中檢査局ヨリ豫審判査ニ付シ
タル査件ハ四万六千三百ナリ然レモ此年ニ処
理ス可キ査件ハ此教ニ止マラス前年ノ残教四
千二百十件アリ此二教ヲ合スレハ五万〇五百
十件ナリ此内十分ノ九即チ四万五千六百九十
二件ハ此年中ニ終結セリ
右教件ノ内豫審言渡ヲ以テ豫審判査ノ重罪取

調局ニ付シタル復件ハ三千七百七十四ナリ
罪裁判所ニ送付シタル復件ハ二万八千六百五
十六ナリ他ノ管轄裁判所ニ送付シタル復件ハ
五百八十九ナリ

他ノ一万二千六百七十三件(即チ百ニ付二十八
ハ公訴ニ付スヘカラサルモノト言渡シタリ此
言渡ノ内二十二ニ對シテハ故障ノ申立アリ
豫審判吏ハ丸彈ノ必要ノ為ノニ他ノ管轄裁判
所ニ囑托シタル丁三万六千九百八件ナリ之ヲ
細別スレハ一万六千三百十九ハ他ノ裁判所ノ
豫審判吏ニ囑托シ一万三千八百四十八件ハ治
安裁判官ニ囑托シ四百五十二件ハ外國ノ官衙
ニ囑托シ六千二百八十九件ハ警部ニ囑托セリ

此囑托シタル件数ノ内百ニ付七十九ハ十日内
ニ取調済トナレリ

重罪取調局

千八百八十二年中重罪取調局ニテ言渡ヲナシ
タル其数ハ三千九百九十一ナリ其内百三十一
ハ全被告人ヲ免訴シ赦免ヲ言渡シ三千八百六
十件ヲ管轄裁判所ニ付スルノ旨ヲ言渡シタリ
此管轄裁判所ニ付シタル復件ヲ細別スレハ三
千七百九十五件ハ重罪裁判所ニ六十件ハ輕罪
裁判所ニ六件ハ違警罪裁判所ニ送付セリ
重罪取調局ノ決議ヲ以テ豫審判吏ノ言渡ヲ認
可シタルモノハ百ニ付八十六ナリ

被告事件取調後却下ノ事件

檢事局、豫審判事、及ヒ重罪取調局ニ於テ被告事
件二十一万五千四百六十三件ヲ却下シタルト
ハ之ヲ前三節ニ於テ論シタリ此事件ノ内一万
二千九百八十五件(百分ノ六)ハ輕罪ニ係ル重罪
事件二十万二千四百七十八件(百分ノ九十四)ハ
輕罪事件ニ係ル其却下^{ニ屬ス}種^數教^ヲ別ツクハ在ノ
如シ

- 一 被告人ノ所為法ニ明文ナキヲ以テ無罪ニ
帰シタル者十万千五百十八件(百分ノ四十
七)
- 一 其犯罪至輕ニシテ眞ニ公益ヲ害スルニ至
ラサル者二万千九百七十七件(百分ノ十)
- 一 犯罪ノ有無判然セサルカ或ハ年齡辨別ノ

- 未々具ラスシテ罪責ヲ帰スルヲ得サル者
二万四千九百十四件(百分ノ十二)
- 一 被告ニ對スル告訴ノ証憑不充ナル者七
千三百二十件(百分ノ三)
- 一 犯罪ノ眞ノ正犯不分明ノ者六万〇九十四
件(百分ノ二十八)

以上述フル所ニ依レハ放赦ノ言渡ニ依テ落着
ニ帰スル件數ハ前年ヨリ次第ニ減少セリ蓋シ
是レ檢事局ニ於テ事實ノ法律上罰スヘキ犯罪
ナラサルモノヲ無罪ノ部ニ入ルニ大ニ整頓シ
タルニ因テナリ此ヲ以テ檢察官ハ其受タル所
ノ調査ノ精査ヲ遂ケ自親或ハ治安裁判官、警察
官吏、憲兵ニ任シタル吟味ニ依テ凡ソ眞實ヲ察

見スルノ午段ヲ尽スニアラサレハ事件ヲ時日
及ヒ旁カヲ要スル治罪ノ手續ニ移サ、ルヲ知
ルヘシ

刑事訴訟手續ノ日限

刑事訴訟手續ノ日限ハ其統計ノ数年々少シク
変改アリ此ニ千八百八十二年ノ統計ニ就テ裁
判官カ勉勵シテ刑事々務ヲ急速ニ処理シタル
トヲ示サントス

豫審判事ノ言渡シタル命令ノ内百房ノ四十八
訴ノ日ヨリ十五日内ニ於テシ其二十七ハ三十
日内ニ於テセリ

刑事宣告ノ十分ノ六以上即チ百分ノ六十一ハ
懲^{懲罪}裁^{懲罪}判^{懲罪}所ニ於テ之ヲ犯罪ノ日ヨリ十五日内

ニ言渡シ其控訴院廻ニ成リシモノ十度ノ中六
度ハ控訴ニ成リシ一ヶ月内ニ其言渡アリタリ
重罪取調局ハ其受理シタル事件ノ四分ノ三^三審
理シタリ其事件^三之ヲ移スノ命令アリシ日ヨ
リ二ヶ月内ニ送付セリ

重罪院ニ於テ被告人出席ノ上判決シタル事件
ハ必ス豫審ヲ行ヒ加フルニ毎寢廳ヨリ寢廳ノ
時間ヲ待タサル可テサルヲ以テ其日限長シト
ス此ヲ以テ其事件ノ五分ノ二ハ之ヲ告訴ノ日
ヨリ三ヶ月内ニ言渡シ其百分ノ二十三ハ四ヶ
月内ニ其百分ノ三十七ハ四ヶ月以上ニ涉レリ

繫禁

千八百八十二年檢察官ノ受ケタル告訴及ヒ調

昏ノ教ハ前年ヨリ減シタリト雖モ被告人ノ禁
 禁ハ従前ニ比スレハ教々之ヲ要シタルヲ見
 ヘタリ本年繫禁シタル被告人教ハ十二万十三
 百七十一人ナリ(十八百八十年ニハ十二万〇
 五百二十六即チ本年ヨリ少キハ八百四十五)此他
 千八百八十二年一月一日未タ此教ニ加ヘナリ
 シモノ二千八百九十人アルヲ以テ其全教ハ十
 二万四千二百六十一人ナリ此人莫^レ裁判所ニ於
 テ其罪ノ有無ヲ判決セサル可^レナルモノニシ
 テ此内言渡アリシモノ十二万四千三百五十六人
 ナリ之ヲ種別スレハ即チ^モ如シ
 一 檢察官ヨリ放免ノ言渡ヲ受ケシ者二万四
 千四百十九人(百分ノ二十)

一 免許ノ言渡ヲ受ケシ者六十百七十二人(百
 分ノ五)
 一 保釈ヲ得タル者四十百四十人(百分ノ四)
 一 輕罪裁判所ニテ言渡ヲ受ケタル者八万一
 千七百五十人(百分ノ六十八)
 一 重罪取調局廻ニ成リシ者四十百六十六(百
 分ノ三)
 一 所轄裁判所ト熟議ノ上陸海ノ軍衛廻レタ
 ル者四百〇九
 繫禁ノ日限ノ在^ル如シ
 一 一日以下一万三千二百人(百分ノ十)
 一 一日以上三日以下四万二千九百七十六(百
 分ノ三十八)

一 四日以上八日以下二万九千二百六十四(百
 分ノ二十四)
 一 九日以上十五日以下一万五千四百七十八
 (百分ノ十二)
 一 十六日以上一月以下一万〇三百六十三(百
 分ノ九)
 一 一月以上八千五百七十五(百分ノ七)
 故ニ被告ノ十分ノ七以上ハ八日内ニ其繫禁
 ノ解カレタリ

保釋

保釈ノ法律ハ之ヲ通用スルト多カラストス何
 トナレハ漸ク被告人四千四百四十人ノミ其利
 益ヲ受ケタルニ過キサレハナリ然レモ其利

審判事カ何等ノ趣意ニテ之ヲ保釈シタルマ
 知ルハ要用ナリ故ニ左ニ其種別ヲ掲ントス
 自カラ收監ヲ解カレタル被告人三千七百四十
 七人(百分ノ八十四)
 關係人ノ願ニ因テ保釈ヲ得タルモノ四百〇五
 人
 輕罪裁判所ハ現行犯罪ニ関スル千八百六十三
 年五月二十日ノ法ニ依テ拘致シタル被告人四
 十一名ニ保釈ヲ許シタリ是レ該裁判所ニテ直
 十ニ(裁判所)言渡ス可ラサル事情アリテ後戻ノ訟庭ニ
 廻レタルモノナリ
 其他法律ノ明文ニ基テ罰金或ハ違警罪ニ処ス
 へキ被告人四十三人及ヒニケ年以下ノ禁錮ニ

必スヘキ犯罪ニシテ五日間ノ審問落着ニ至ラ
サルモノ百〇四名ニ保釈ヲ許シタリ
保釋人ニ保証金ヲ要シタルト稀レナリ唯タ登
記税官ニ金四ヲ納メ或ハ裁判所書記^ト約定
者ヲ呈シテ富有ナル保証人ヲ立テタルモノ三
百六十五名アリシノミ
保釋ノ後令状ヲ発シタルモノ四十四百四十名
中僅ニ二十四名アリテ裁判所ニ代理人ヲ出ス
ヘキニ之ヲ出サ、リシモノ保釋人ノ内五十九
名アリシノミ

小検事局(始審裁判所検事局)

巴里ノ始審裁判所検事局ニ於テ取扱フタル事
件ノ数三万五千二百九十件ナリ内六千〇四十

件ハ検事補ヨリ豫審判事ノ審査ニ附レ其他ノ
事件ハ左ノ如ク処理シタリ
一万四千百九十六件起訴ニ及ハサルモノ
千〇三十一件違警罪裁判所ニ移シタル者
一万四千〇二十三件輕罪裁判所ニ移シタル者
内^内七百四十九件ハ直ニ^呼シタル者ニシテ一万
三千二百七十四件ハ收監状ヲ発シタル後ニ係
ル者(千八百六十三年五月二十日、法第一条)
豫審判事ニ移シタル六千〇四十件、内千六百六
十四件ハ放免ヲ言渡シ残四千三百七十六件中
輕罪裁判所ニテ重罪ノ豫審ニ移スノ命令ヲ下
シタル者二千五百四十四件輕罪裁判所ニ移シタ
ル者千七百九十五件違警罪裁判所ニ移シタル

者三十七件ナリ

小検事局ニテ取扱タル三万五千二百九十件ノ

被告人ノ数三万九千四百三十三人アリ内換事ニ

テ放免ヲ言渡シタル者一万六千七百三十二人

判事ノ放免ヲ言渡シタル者百四十二人ニシテ

收監状ヲ附シタル者二万二千二百六十九人ナ

リ

郡ノ五箇ノ小検事局ニテ二十四時間ニ召喚シ

テ訊問ヲ受ケタル被告人一万六千九百五十五

人アリ其結果在ノ如シ

無実ノ明白ニナリシ者二千九百四十五人(百万

ノ十七)

刑事裁判所ニ廻サレタル者一万二千五百八十

五人

行政裁判ニ廻サレタル者千五百五十人

陸海ノ裁判所ニ移レタル者二百七十五人

又ク其繫禁セラレタル者^{地事ノ数}左ノ如シ

一 リヨシ八百八十七人

一 ボルドー四千六百五十人

一 マルセイユ四千三百九十一人

一 ヴィールーズ千〇十八人

一 ナント千〇九人

大ナル都府ニ小検事局ヲ設ケタルハ小検事局

ニテ直ニ若干ノ事件ヲ判決スルヲ許シ以テ

大検事局及ヒ豫審局ノ煩務ヲ免シタルナリ

第六部

大審院

大審院刑事局ニテ受理シタル上告ノ件數ハ千
 八百八十一年ニハ千三百四十八件ナリシカキ
 八百八十二年ニハ千五百八十一件ニ登レリ此
 増加ハ独リ重罪事件ニ止リ其件數千八百八十
 一年ニハ五百七十六件ナリシモノ千八百八十
 二年ニハ七百八十二件トナレリ而シテ右ノ外輕
 罪事件ノ上告五百五十六件連警罪事件ノ上告
 百十七件裁判管轄ヲ定ムル訴ノ上告百十三件
 嫌疑ノ為人裁判管轄ヲ移スノ訴ノ上告事件十
 三アリ其他種々ノ上告九件アリ
 刑事局ニテ言渡シタル事件ノ數千三百二十件

ニシテ右ノ内三十二件(百分ノ二)ハ不受理十百
三十三件(百分ノ八十六)ハ却下百五十三件(百分
ノ十二)ハ破毀ヲ言渡シタリ此百五十三件ノ内
五十四ハ重罪裁判所ノ言渡四十二ハ輕罪裁判
所ノ言渡五十七ハ違警罪裁判所ノ言渡ニ對ス
ルモノナリ
百十三件ノ裁判管轄ヲ定ムル訴ニ付其管轄ヲ
定メ懷疑ノ為ノ裁判管轄ヲ移スノ訴ノ中四件
ヲ採用シ八件ヲ却下シ十八件ノ上告ノ不受理
ヲ言渡シタリ
千八百八十二年重罪院ニテ重罪、國事、出版ニ関
スル事件ニ付被告人出席ノ上言渡シタル判決
三千六百七十件ノ内四百四十九ヲ大審院ニ上

告シ大審院ハ僅々其三十三件ヲ破毀シ○其
他新ニ重罪院ノ判決ニ屬シタル二十一件ノ内四件
ハ刑ノ適用ノ為ノ他ノ重罪院ニ廻シ他ノ八件
ノ判決ニ之ヲ重罪院ニ廻サス刑事局ニテ破毀
シタリ

第七部

雜件

外國引渡事件

千八百八十二年中外國引渡ノ事件五百十一件
了リ其内佛國ヨリ外國ニ請求シタルモ、百八
十二件外國ヨリ佛國ニ請求シタルモ、三百二
十九件ナリ

佛國ニ請求シタル國及ヒ件數左ノ如シ

日身義百九十三件

伊太利六十二件

瑞西三十二件

獨逸二十五件

西班牙九件

和蘭四件
 歐太利二件
 英吉利一件
 謨那古一件
 又佛國政府ヨリ引渡ラ諸求シタル國及ヒ件數
 左ノ如シ
 白耳義百十二件
 瑞西三十六件
 英吉利九件
 獨逸七件
 伊太利四件
 和蘭四件
 歐太利一件

引渡方ノ請求ヲ受タル者ハ其國々ノ裁判所ニ
 テ谷弁マリ其犯罪ノ種類共ニ件數左ノ如シ
 盜罪或ハ背信二百七十一件即チ百分ノ五十三
 詐偽取財三十八件
 強盜擄奪三十三件
 詐偽ノ倒産三十二件
 幼者ニ交強ヲ勸メタルノ罪二十七件
 謀故殺若シハ殺子二十六件
 其他ノ犯罪二十七件

塞納只ニ於テ為シタル逮捕

巴里ノ警察署ニテ逮捕シタル者ハ大抵之ヲ裁
 判所ニ送附シタルヲ以テ裁判既済ノ被告人中
 ニ塞納只トモ本件塞納只ニ於テハ重要ナ

ル職ナルカ故ニ特ニ此ニ之ヲ論マサル可ラス
千八百八十二年警視廳ニ於テ逮捕シタル眞數
四万六千四百五十七人アリ之ヲ千八百八十
年ニ比スルニ其多キ一僅カニ九百五十三人ニ
過キス然レ氏之ヲ千八百七十六年ヨリ千八百
八十年ニ至ル五年間ノ平均數ニ比スル時ハ其
多キ一一万千三百三十八人ナリ殆レト十分ノ九
即テ四百〇七百七十四人(百分ノ八十八)ハ之ヲ
巴里府内ニテ逮捕シ殘五千六百八十三人ハ府
外ノ地ニ於テ逮捕シタリ試ニ之ヲ人口ニ比ス
レハ城内ニ於テハ住民千人ニ對十八人城外ニ
於テハ千人ニ對十一人ニ當レリ又タ其内男ハ
四万〇百六十二人(百分ノ八十六)ニシテ女ハ六

千二百九十五人(百分ノ十四)ナリ即テ是レ重罪
及ヒ輕罪裁判所ニ送附シタル所ノ被告人ノ數
ニシテ之ヲ人口ニ比スルニ男ハ千人ニ對二十
九人女ハ千人ニ對四人ナリ
逮捕ヲ受タル四万六千四百五十七人ノ年齢ヲ
種別スレハ左ノ如シ
丁年ノ男二万七千四百五十一人即男ノ百分ノ
六十八
幼年ノ男一万二千七百十一人即男ノ百分ノ三十
二
丁年ノ女五千三百二十六人即女ノ百分ノ八十
五
幼年ノ女九百六十九人即女ノ百分ノ十五

之ヲ人口ニ比スルニ二十一歳以上ノ男ハ千人ニ付二十九人女千人ニ付六人ナリ幼者ニ付テハ詳カシク可ラスト前頭ノ數ニ依レハ二十一歳以下ノ童男ハ殆ントト丁男ノ全數三分一ニシテ二十歳以下ノ童女ハ丁女全數ノ二十分一ナリ逮捕ヲ受ケタル者ノ内外國人三千二百九十一名アリ即ケ全數ノ百分ノ七ニ過キス近時調査ノ人高ニ依レハ塞納及ニ住スル外國人十九万三千〇四十六名アルヲ以テ仏人ノ如ク百分ノ十七ノ比例ニ当ル即ケ仏蘭西人ハ二百五十六万九千四百九十一人ニ付逮捕ヲ受ケタル者四万三千百六十六人アリ其犯罪ヲ區別スレハ左ノ如シ

公益ニ對スル重罪或ハ輕罪二万六千七百〇三人(百分ノ五十七)

身体ニ對スル罪千八百一人(百分ノ四)

財産ニ對スル罪一万二千五百二人(百分ノ二十七)

風俗ニ對スル重罪輕罪八百二十六(百分ノ二)

其他種々ノ犯罪四千六百二十五人

受ケタル者ノ内十分ノ六ハ無産業者(一万四千二百八十人)賊盜罪(八千六百〇四人)乞食(二千七百〇五人)居住ス可ラサルノ禁令ニ背キタル者(千五百五十二人)及ヒ配所外ニ出ル者(八百九十九人)ナリ

逮捕ニ付分ヲ為シタル人負左ノ如シ
直ニ釈放シタル者二千八百〇九人(即チ百分ノ
六)

貧院ハ送達スル者千六百三十四人

國疆外或ハ軍衙ニ送附シタル者八百〇七人
刑事裁判所ニ廻シタル者四万二千二百七人

變死人

千八百八十二年檢事ハ通牒シタル一万三千百
九十通ノ調査ニ依レハ變死人一万千百十一人
大道ニテ倒死シタル者二千〇七十九人アリ之
ヲ人口ニ比スルニ住民十萬ニ付三十五人ナリ
然レ氏其男女ヲ區別スレハ女ハ十三人ニシテ
男ハ五十八人ノ割ナリ

變死人ノ三分ノ一ハ(三千七百一人)ハ溺死者七
分ノ一ハ(千五百九十八人)ハ墮死ナリ酒精ヲ過
用シタル者ハ前年ニ比スレハ少ク減シ本年
ハ五百〇八人ニシテ前年ハ五百六十人(變死人
全數ノ寸分ノ一ナリ)

自殺

自殺ノ檢察官ニ届出タル自殺ハ總テ其死ノ犯
罪出テレヤ或ハ變死ニ係ルヤヲ檢証スルカ為メ
裁判醫學的ノ吟味ヲ為シ或ハ洛罪上ノ手續ヲ
為サ、ル可ラス此ヲ以テ之ヲ刑事統計表ニ載
テ吟味ノ結果ヲ示シタリ然レ氏此事タル裁判
上ヨリ、寧ロ理學及ヒ醫學上ニ係ルヲ以テ此ニ
其大要ヲ示スノシ

自殺人ノ數ハ年々増加シテ千八百八十二年ニ至テ著シク増加シテ五ヶ年以來ノ全數

千八百七十八年ニハ自殺人六千四百三十四人

千八百七十九年ニハ六千四百九十六人

千八百八十年ニハ六千六百三十六人

千八百八十一年ニハ六千七百四十一人

千八百八十二年ニハ七千二百十三人

千八百八十一年迄ハ其増加年々百分ノ一或ハ

二ニ過キサリシカ千八百八十一年ヨリ千八百

八十二年ニ至ル間即チ百分ノ七ニ登レリ五ヶ

年以前ニハ住民十萬ニ付自殺人十七人即チ五

千七百三十六人ニ付一人ノ割ナリシモ今日ハ

住民十萬ニ付自殺人十九人即チ五千二百二十

三人ニ付一人ノ割合ナリ

千八百八十二年ノ調査ニ依ルニ塞納及内自殺

人千二百五十人アリテ殆ント全數ノ六分一ニ

近シ之ヲ人口ニ比スレハ住民十萬ニ付四十

五人ニ當ルヲワズ及チ其比例塞納ニ同シ

ヲ一ブルマルヌ及チセーネマルヌノ三及ハ十萬

ニ付四十

マ一ネヲワズ及ハ十萬ニ付四十

エ一ヌ及ハ十萬ニ付三十六

エ一レロワルハ十分ニ付三十五

以上ノヤ及ハ即チ國都ノ周圍ニ在リ

一般ノ中數ハ住民十萬ニ付十九人ノ割ナリ而

シテ中數ヲ超過スル及十八アリ左ノ如シ
ワール及ハ三十二人

ワシム及セトスアインフエリユール及ハ三十一人
フーシユゲユワース、コートドール及ヒユール

及ハ二十八人
コワレト及ヒヨシ又ハ二十七人

アンドレロワール及ハ二十六人
バースアルプ及ハ二十五人

ラートマルス、ドローム及アルゲンヌ及ハ二十三人
コワレシユルバ及ハ二十一人

オクターユールズ、カルワドス、サルト及ヒアルプ
マウチーム及ハ二十人

其他ノ三十四及ハ其比較十八人ヨリ十人ニ至

ル

ゼール、コーマレーズ、ラート、イレ井リース及ヒ
コワールアシフエリユールノ及ハ九人

コテガコンヌクルウーズピレネーラリヤンタ
ール、バースピレネー及ヒタルヌノ及ハ八人

サオワ、ワシゲー及ヒモルビアシノ三及ハ七人
ラートサオワ、ワゼール及ヒタルネカコンヌ及

ハ六人

アウユワシ及ヒラートコワールノ四及ハ四人
アエージュ及ハ三人

コルス及ヒラートピレネー及ハ二人
此比較ヲ以テ各及ノ犯罪比較數ニ比スレハ人

ノ身体ニ對スル重罪ノ比較數ノ第一位ヲレム

ル又ニ在テ却テ自殺人ノ比較ノ終位ニ居ル
 モノアルヘシ
 自殺人ノ男女ノ區別年齢身分又ハ職業ニ就テ
 ハ其明瞭ナランヲ欲シテ左ニ其表ヲ掲ク

指示	男女		自殺人現數	比較數 百=自殺人 百件ニテ住 民十萬分
	男	女		
十六歳以下	五七二三	〃	七九	〃
自十六歳至二十歳	四一	〃	一	〃
自二十一歳至三十歳	五八八	二〇〇	四	十二
自三十歳至四十歳	八三三	九八〇	三二	二二六
自四十歳至五十歳	九八〇	九八〇	四二	一六
自五十歳至六十歳	一、一八五	一、一八五	六二	二〇
自六十歳至七十歳	一、〇七五	一、〇七五	七八	二九一
七十歳及其以上	六九九	六九九	八二	一六九
年齢不分明	一一一	〃	〃	十一
未結婚者(男ハ十八歳以下 女ハ十五歳以下)	二、〇八六	二、〇八六	三八	四七一
結婚者	二、五七六	二、五七六	四七	六七五
無業	八六〇	八六〇	十五	三三〇
身分不分明	二〇一	〃	〃	一四
農	一、七八三	一、七八三	三四	六〇一
工	一、八二四	一、八二四	四〇	三〇
				九

身分	年齢		自殺人現數	比較數 百=自殺人 百件ニテ住 民十萬分
	男	女		
自三十歳至四十歳	八三三	九八〇	三二	二二六
自四十歳至五十歳	九八〇	九八〇	四二	一六
自五十歳至六十歳	一、一八五	一、一八五	六二	二〇
自六十歳至七十歳	一、〇七五	一、〇七五	七八	二九一
七十歳及其以上	六九九	六九九	八二	一六九
年齢不分明	一一一	〃	〃	十一
未結婚者(男ハ十八歳以下 女ハ十五歳以下)	二、〇八六	二、〇八六	三八	四七一
結婚者	二、五七六	二、五七六	四七	六七五
無業	八六〇	八六〇	十五	三三〇
身分不分明	二〇一	〃	〃	一四
農	一、七八三	一、七八三	三四	六〇一
工	一、八二四	一、八二四	四〇	三〇
				九

職業	職業				
	商運送	僕婢	所有者入額所得者	軍人	官吏、自由職業
職業不分明	六〇一	三〇二	五〇〇	一三三	一八一
	十一	六	九	三	三
	二七	八八	六五	三八	二四
	七二	一三五	二二九	〃	一〇
	五	九	一〇	〃	一
	三	十五	一三	〃	一

自殺進歩ノ速力ハ男ハ女ニ比スレハ四倍ナリ
 男女共年齢ノ進ムニ從フテ其數ヲ増加マリ自
 殺人中特ニ結婚者多ク僕婢及ヒ土地ノ所有者
 之ニ次ク
 年齢十六歳以下ノ童六十五人中十六年ニ達スル
 之ノ三十五人、十五年ニ達スルモノ十三人、十四

年ニ達スルモノ十人、十三年二人、十二年四人、十
 年一人ナリ
 自殺人ノ内住所無キ者八十三人其他ハ住家ヲ
 有スル者ニシテ野區ニ三千八百六十三人(百分ノ五
 市區ニ三千二百六十七人(百分ノ四十六)アリ然
 シ氏野區ノ人口ハ市區ヨリ多キト二倍ナルヲ
 以テ野區ハ住民十万人ニ對自殺人十六人ニ過キ
 サルモ市區ハ十万人ニ對二十五人ナリ故ニ自殺
 人多キハ大市街アリトス

自殺ノ方法

自殺人十分ノ七八絞首及ヒ入水ニ依テ死ヲ致
 シタリ其三千二百七十三人(百分ノ四十五)ハ絞
 首千九百三十一人(百分二十七)ハ入水ニ係ル其

他八百三十七人(百分ノ十二)ハ銃死五百五十七
(百分ノ八)ハ炭素閉息二百二十一人(百分ノ三)ハ
及物百二十四人(百分ノ二)ハ毒藥百七(二)十四人
(百分ノ二)ハ墮落ニ因リ九十六人(百分ノ一)ハ其
他ノ方法ニ依レリ

時候

自殺人ノ殆ント十分ノ三即チ二千百十七人(百
分ノ二十九)ハ四、五、六、三ヶ月・間千八百四十一人
(百分ノ二十五)ハ七、八、九、月・間千七百七十人(百
分ノ二十五)ハ一、二、三、月・間千四百八十
五人(百分ノ二十一)ハ十、十一、十二月・間千
五百八十人(百分ノ二十一)

原因

自殺吟味ノ調看ニ依テ自殺ノ原因ヲ種別スレ
ハ腦病二千百十八人(百分ノ三十二)苦痛千百十
二人(百分ノ十六)自家ノ心配九百六十九人(百分
ノ十四)酒癖或ハ過酒八百六十九人(百分ノ十三)貧
窮八百十九人(百分ノ十二)嫉妬三百八十六(百分
ノ六)告訴ヲ免ルカ為メニスル者二百五十三人(百
分ノ四)種々ノ行違ニ係ル者二百十六人(百分ノ
三)調看ニ原因ヲ詳ニマサルモノ四百八十人ア
リ

赦典

七月十四日ノ國祭ニ際シテ千四百六十七人ノ
罪犯ニ免刑或ハ減刑ヲ与ヘタリ其内五十六人
ハ無期徒刑三百四十五人ハ有期徒刑三百七十
二人ハ禁獄六百九十四人ハ禁錮ノ囚ニ係ル

此赦典ハ此等ノ罪犯ノ獄内ニ於テ品行良善悔悟ノ意ヲ表シタルニ因テ与ハタルモノナリ

復権

千八百八十一年(即チ立法府議員撰挙ノ年)重罪取調局ニ復権ヲ領出タルモノ千五百三十三件アリシカ千八百八十二年ニハ減シテ凡百八十ニ件トナレリ重罪取調局ハ右ノ件數ノ内七百十一件ニ復権ヲ許シ二百七十一件ニハ許サズル意ニシテ治罪法第二百三十条ニ從ヒ其各類ヲ本省ニ送達シタリ六百六十八件ハ之ヲ其年内ニ調査シアリ復権ノ令ヲ下シタリ即チ十五人ニハ施休及ヒ加辱ノ刑ヲ免シ六百十三人ハ禁錮ニ処シ(一年以上三十三年以下五年或ハ以下五百

八十人)三十九人ニハ罰金ヲ科シ而シテ免職ノ

檢察官ニ其權ヲ復シタリ

放釈或ハ罰金上納時ヨリ復権迄ノ時間左ノ如シ

三年ヨリ五年迄六十人(百分ノ九)

五年ヨリ十年迄二百二十人(百分ノ三十三)

十年ヨリ二十年迄二百二十六人(百分ノ三十四)

二十年以上百六十二人(百分ノ二十四)

裁判費用

千八百八十二年(會計年度)千八百八十二年一月一日ヨリ千八百八十三年六月三十日ニ至ルニ刑事裁判所ニテ徴収スヘキ裁判費用凡百七十二万四千二百八十一フランナリ其内凡百

二千八百十三フランハ之ノ登記收税吏ヨリ之ヲ
納メ千四万〇四十二フランハ告訴入費ニシ
テ五十八万四千二百二十六フランハ郵便税ナリ
其カ四百三十八万八千二百三十四万三千〇九十
リシモ未納ノ額^抑五百三十四万三千〇九十
九フラン(百分ノ五十五)アリ之ニ對シテ直税收
納吏ハ院及ヒ裁判所ニテ言渡シタル罰金三百
〇七万五千九百七十五フランノ額ヲ國庫ニ納
メタリ

千八百八十二年重罪院ニ於テ被告人出席ノ上
言渡シタル被告事件三千六百四十四件アリテ
款件ニ付要シタル税表記載ノ入費ノ額百十萬
二千九百十一フランナリ今其中數ヲ取レハ一

件ニ付三百〇三フラント為ル然レモ此中數ハ
被告事件ノ犯罪ノ種類ニ因テ同レキラス其身
体ニ對スルモノハ一件ニ付三百十三フランニ
シテ財産ニ對スルモノハ二百九十四フラント
ス

輕罪事件ニ付テ被告人ノ數ニ依テ中數ヲ定ム
ルニ普通犯罪ノ被告人ハ一人ニ付十九フラン
十八フランケルニシテ大藏或ハ森林ニ屬スル
違犯ノ被告人ハ十三フラン九十四サレケル
トス

民事拘留

千三(八〇)百七十一年十二月十九日ノ法ハ刑事
裁判所費用徴収ノ為メ拘留スルノ法ヲ復シ大

此分ヲ受ク可キ者ノ數ヲ増加シタリ此法頒
 布ノ前年千八百六十九年ニハ重、輕違警罪ノ罪
 犯ノ拘留ヲ受ケタル者千七百七十六人ニ過キ
 サリレカ千八百七十二年ニハ三千百二十一人
 ニ昇リ逐年増加シテ千八百八十二年ニハ一
 千三百八十一人ト為レリ其内八百八十二
 人(百分ノ七十八)ハ無資力者ニ係リ二千五百五
 十四人(百分ノ二十二)ハ有資力者ニ係ル
 拘留人ノ十分六以上七千百十七人(百分ノ六十三)ハ拘
 留ノ日數十五日以内ナリトス
 (アルゼリノ刑事裁判所報告ハ畧之)
 於巴里
 千八百八十四年三月十二日

國丞監司法兼教部卿

マルタシ、ホイヤ

共和政大統領閣下

司法省文庫
第 835 號

835

Blank manuscript page with vertical ruling lines.

光緒二十九年

庚子年

書

